

令和 7 年度

全日本音楽教育研究会中学校部会

## 調査研究 報告書

令和 8 年 3 月

全日本音楽教育研究会中学校部会調査研究部

## 「我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の授業実践例」の調査について

- 1 目 的 現行学習指導要領解説編ではその改定の趣旨及び要点の中に「我が国や郷土の伝統音楽に関わる指導の充実」が明記されている。こうしたことから、従前より全国では教科書に掲載の教材にとどまらず、その地域の特色を生かした教材や、多様な諸外国の音楽を取り入れるなどして授業実践がなされている。また、それを扱う領域分野も歌唱、器楽、創作、鑑賞と大変幅広い活動が行われていると考えられる。指導の方法にあっては地域の人材を活用したり、地域に伝わる伝統的な指導の方法を取り入れたりしていることも考えられる。今回、その実践事例を広く収集し、全国の研究に役立てていただきたいと考えこの調査を行うこととした。
- 2 対 象 全国公立中学校音楽科教員
- 3 調査概要 調査対象者がインターネットで全日本音楽教育研究会中学校部会のホームページにアクセスし、実践内容を記述する。
- 4 調査期間 令和7年7月1日（火）から8月31日（日）まで
- 5 方 法
  - (ア) 全日本音楽教育研究会中学校部会のホームページにアクセスする。  
アクセス URL <https://zennichionken-jhs.jp>  
又は [全日本音楽教育研究会中学校部会](#)で検索
  - (イ) 『我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の授業実践例』の調査についてのバナーをクリックする。
  - (ウ) 都道府県を選択する。
  - (エ) 調査内容  
つぎの項目についてお答えください。
    - ① 「我が国」「郷土」「諸外国」どの実践例ですか。特に「郷土の音楽」についてはその地域の持ち味を生かした授業実践事例をご回答いただけたら幸いです。また、専門の奏者・指導者を招いての実践例でももちろん結構ですが、先生方ご自身が実践されているものを中心にご回答いただけたら幸いです。
    - ② 表現（歌唱、器楽、創作）・鑑賞あるいは複数の領域分野にまたがる実践、こういった事例ですか。
    - ③ 何学年での授業ですか。
    - ④ 何時間扱いですか。
    - ⑤ 題材名をお答えください。
    - ⑥ どのような楽曲をお使いですか。
    - ⑦ 器楽（創作）であればどのような楽器をお使いですか。また3年間を通してどのように指導されていますか。
    - ⑧ 簡単な指導案を記述願います。
    - ⑨ その他補足説明があれば記述をお願いします。

**\* 必要な場合は生徒用ワークシートも PDF 形式に変換の上添付できます。ただし著作権にはご注意ください。（注：今年度は複数ページでも結構ですが、PDF 形式 1 ファイルのみ、ファイル名は英数字、サイズは 20MB 以内でお願いします）**

**\* ⑧の簡単な指導計画については「【第〇時】、◆ねらい、○学習内容、・学習活動」といった形で記載してください。（国立教育政策研究所 学習評価に関する参考資料 P61～を参照）**

<⑤⑧の記載例>

題材名： 楽器の音色の違いを感じ取り、三味線の特徴を理解して演奏しよう

【第1時】

◆三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、三味線の音色や響きと楽器の構造や奏法との関りについて知るとともに、三味線の音色や奏法への関心をもつ。曲想と音の重なり方との関りについて理解する。

○三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。

・長唄「鳥羽絵」の一部を聴き、気付いたことや感じ取ったことを学級全体で共有し、声の出し方が合唱などとは異なることや、歌と三味線による演奏であることなどを確認する。

.....

【第2時】

◆.....

○.....

6 その他

(ア) 調査の回答内容に個人情報等が含まれないようご配慮ください。

(イ) 調査回答の内容については、各校の管理職より許諾を得てください。

(ウ) 調査集計結果は、本会ホームページ上で公開する予定ですが、その際回答毎の都道府県名も公表いたします。

(エ) 昨年度より調査報告書は冊子での配付はせず、本会ホームページからデータでのダウンロードをご案内する方式としています。

(オ) **本調査は会員の研究のための参考資料とし、そのまま複製して外部に出すことは不可とします。**

7 調査結果

(1) 全国調査回答数 130件

(2) 都道府県別回答数

都道府県名	回答件数	都道府県名	回答件数
青森県	1	福井県	1
宮城県	2	長野県	1
秋田県	1	岐阜県	1
山形県	1	静岡県	20
茨城県	23	三重県	1
栃木県	15	京都府	9
埼玉県	5	広島県	5
千葉県	15	徳島県	1
東京都	2	愛媛県	1
神奈川県	1	長崎県	6
新潟県	5	熊本県	11
石川県	1	宮崎県	1

計

130

### （３）調査結果概要

本調査は、全国の学校における「我が国の音楽」に関する教育実践を広く収集し、その傾向と特徴を整理・分析したものである。収集された多様な事例からは、伝統音楽に対する理解を深めるための教育活動が各地域で工夫され、実践の広がりが確認できた。

- 1 多くの実践で体験を中心とした学習活動が重視されている。箏、三味線、和太鼓などの和楽器を用いた演奏体験は、生徒の意欲を高める効果が報告されており、音色や奏法に触れることで伝統音楽の特性を実感的に理解させる取り組みが多数見られた。また、地域の演奏家や専門家を活用したワークショップの実施など、外部資源の積極的な活用が進んでいる。
- 2 地域文化との連携による学習の深化が顕著である。郷土芸能や地域の祭礼、伝統行事を教材化し、生徒が自らの地域文化と関わりながら学ぶ実践が多く報告された。地域固有の伝統を学ぶことが、生徒の文化的アイデンティティの形成や、地域に対する理解と誇りの醸成につながっている点は重要な成果である。
- 3 学校現場では他教科・領域との関連付けを意図した取り組みが増加している。歴史的背景の学習、国語科における文学との接点、総合的な学習の時間を活用した調査活動など、複数の視点を取り入れることで学びの広がり、音楽科単独では得られない理解の深まりが示されていた。

一方で、課題としては指導体制の地域差が挙げられる。和楽器の整備状況や専門的指導者の確保にはばらつきがあり、継続的な指導環境の構築には改善の余地が残る。また、「我が国の音楽」が扱う内容の幅広さから、学校ごとに扱い方に差が生じやすく、教材や指導計画の標準化・体系化の必要性も考えられる。

総括すると、全国の学校で「我が国の音楽」を重視する教育実践は着実に広がっており、体験・地域連携・教科横断といった多角的なアプローチが進展していることが明らかになった。今後は、これらの成果を共有し、地域差の解消と指導体制の充実を図ることで、より持続的で質の高い伝統音楽教育の実現が期待されると考える。

本調査が全国の学校の参考として活用されることを願っている。

なお、全日音研・調査研究部でいただいた回答の整理を行ったが、あくまで現時点での事例を集め各支部での研究に資することが目的であるので、その回答内容については、明らかな誤りを除いては訂正を行わなかった。また、記載内容を尊重するために体裁を整えることも最小限とした。このため、表記にばらつきがみられるがご容赦をいただきたい。また、せっかく回答をいただいたものの、入力の際にトラブルがあったとみられ内容が判然とせず、問い合わせも困難な回答が数件あったので残念ながら掲載を見送った。このことについてはより分かりやすい入力方法の検討が必要と認識している。

ご多忙の中の全国からの回答に心よりの感謝を申し上げる。

■ 全日本音楽教育研究会中学校部会 調査研究部 ■

部 長	高 山 俊 哉	校 長	神奈川県	横浜市立田奈中学校
副部長	増 田 昌 久	校 長	東京都	葛飾区立小松中学校
副部長	大 庭 一 修	副 校 長	神奈川県	横浜市立六浦中学校
副部長	桐 山 友 布 子	指導教諭	東京都	西東京市立田無第二中学校
副部長	関 口 裕 大	主任教諭	東京都	千代田区立神田一橋中学校

進番	都道府県名	どの実践例	実践の概要	どんな事例	事例の説明	学年	時数	題材名	楽曲名	器楽(創作)の場合	指導案	補足	資料データ
1	栃木県	我が国、諸外国	箏 諸外国は、伝統楽器や伝統の歌唱	器楽	箏	第1学年	8時間	箏を通して日本音楽を堪能しよう	さくらさくら 虫づくし	箏	雅楽の歴史的背景の成り立ちについてを鑑賞し、唱歌実習を行う。 三味線の所作などを説明し、弾き方を身に付ける。曲練習を行う。 箏曲の鑑賞実習を行い、所作を身に付ける。 三味線、箏などをそれぞれの声部として捉え、ギターの伴奏を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。		
2	熊本県	我が国	日本の民謡について	歌唱、鑑賞	「日本の民謡」の鑑賞及び歌唱の実践。なじみのある民謡や郷土の民謡、歌詞から場面が想像しやすい民謡を数曲鑑賞し、それぞれの民謡がどのような内容か、種類（仕事歌・子守唄・踊り唄など）は何か、使われている楽器は何か、などを聴き取っていく授業をした後で、全国の民謡の中から興味のある民謡を1曲選び、調べ学習をする。そして、その唄を歌唱するために何度も音源を聴き、学習用端末を使って音の高さや長さ、産字やこぶしなどを書き込み、歌唱し、発表していく授業。	第1学年	4時間	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	ソーラン節、谷茶前、草津節、阿波よしの、五木の子守唄	箏を2人に1面使って演奏し、ペアで学習者用端末を使って演奏の動画を撮影し合い、奏法や演奏について意見を伝え合う。また、篠笛で簡単な演奏ができるようになったら、短い旋律を創作する「器楽」と「創作」の授業。	・「ソーラン節」を聴き、どの地域のどんな内容の民謡が考える。 また、どんな楽器が使用されているかにも着目する。 ・生徒たちで考えを出し合い、問いについて明らかにする。 ・次の4つの民謡はどのような場面で歌われたか考えながら鑑賞する。 ※リズムや旋律、音色（独特な発声やコブシ）など民謡のもつ特徴を感じ取りながら鑑賞する。 ※民謡の歌詞に用いられている言葉を理解し、言葉による表現方法を工夫する。また、民謡にあった発声を感じ、囃子詞などを味わう。 ※各地の民謡を通して、リズムや旋律、音色など、音楽の特徴が生活と深く関わっていることに気づき、音楽をより身近なものとして感じる。 ・地元熊本の民謡である「五木の子守唄」を歌う。 ・「五木の子守唄」は何歳くらいの人が歌っていると思うか。なぜそう思ったか考える。どんな内容の歌詞か、背景について知る。 ・教科書掲載の「日本の民謡」のうち、あらかじめ教師が3ブロックごとに選曲し、（北ブロック、中央ブロック、九州ブロックそれぞれ8曲ずつ）学習者用端末に準備しておく。 ・グループに分かれ、選曲する。 ・選んだ民謡について調べる。 ・グループ練習を行う。 →選んだ曲を何度も聴きながら、それに合わせて練習する。 →歌詞の内容や、練習で苦労した所、聴いてほしいポイントなどを、学習シートへ記入。 ・発表会をする。 ・他の班の民謡を聴いた感想や気づきなどをシートに記入。 発表した班への返しをする。	歌う生徒の他に、踊る生徒がいてもよい。	
3	栃木県	我が国	鑑賞 器楽	鑑賞	六段の調	第1学年	4	箏	さくらさくら	箏			
4	静岡県	我が国	日本	器楽	箏	第1学年	4時間	日本の伝統音楽の魅力ってなんだろう	さくらさくら 虫づくし	箏			
5	秋田県	郷土	秋田県大仙市で歌われている「秋田おばこ」「ぼんでん唄」	歌唱、鑑賞	各自の学習者用端末で「文化デジタルライブラリー」にアクセスし、民謡のリズム、歌詞の内容などを分類する。郷土の2つの民謡について、その中のどの民謡の種類に近いか考える。コブシやハヤシ、節回しについて理解するために、歌唱の活動を取り入れる。民謡をどのように後世に伝えていくべきか考える。	第1学年	3時間	郷土に伝わる民謡を調べたり歌ったりして、その特徴について知ろう	「秋田おばこ」「ぼんでん唄」「ドンバン節」「秋田音頭」	これとは違う実践ですが、2年生では箏と五音音階について学習します。また、箏を用いて俳句に旋律をつける、創作の実践を行っています。	【第1時】 ◆民謡の特徴を理解し、民謡と文化・生活との関わりについて関心をもつ。 ○民謡と文化・生活との関わりについて知る。 ・民謡が歌われている場面の映像を見て、民謡の役割についてまとめる。 ・各自の学習者用端末で「文化デジタルライブラリー」にアクセスし、民謡のリズム、歌詞の内容などを分類する。 ・郷土の2つの民謡について、その中のどの民謡の種類に近いか考える。 【第2時】 ◆身近な民謡の歌唱を通して、民謡の特徴的な歌唱表現のよさや美しさを味わう。 ○身近な民謡の歌唱を通して、コブシやハヤシ、節回しなどの特徴を理解するとともに、そのよさや美しさを味わう。 ・映像や音源に合わせて旋律を歌う。 ・コブシやハヤシなどの指導映像を参考に、声の音色に気を付けて歌う。 ・歌い方の特徴について気づいたことを話し合う。 【第3時】 ◆民謡に関する共通性や固有性について考え、自分たちの生活や文化と関わらせながら、どのように民謡を継承していくかについて思いをもつことができる。 ○学習したことや感じたこと、「文化デジタルライブラリー」に収録されている日本全国の民謡の解説をもとに、民謡をどのようにに継承していくかについて考えたことを書く。 ・レポートを書く。 ・考えたことについて共有する。	・学校によっては、手踊りの経験者や地域の歌い手などに模範演技等をお願いしたことがあります。	20250911 1648-akita_oo magarini shi.pdf
6	京都府	我が国、郷土	夏休みの課題に郷土の音楽を調べさせている。	歌唱、器楽		第1学年	2時間	箏	さくらさくら	箏、尺八	作成したことはありません。		
7	栃木県	我が国	町内在住の「尺八」「箏」奏者の方々に来校いただき、演奏、ご指導をいただきました。	器楽	尺八や箏の多彩な表現や音色の美しさを味わい、我が国の伝統音楽に対する理解や愛着を深めることができる。	第1学年	2時間	箏の基本的な奏法を身に付けよう	「さくらさくら」他	「さくらさくら」他	◆ねらい 箏や尺八の基礎的な奏法を理解し、「さくらさくら」を演奏することができる。  ○学習内容 本時のねらいを確認する。 楽器についての説明を聴き、部分練習する。 「さくらさくら」の前半部分を練習する。 「さくらさくら」を通して練習する。 互いの演奏を聴き合って相互評価をする。 学習のまとめと自己評価をする。		

8	熊本県	郷土	熊本県天草市牛深の郷土の音楽【牛深ハイヤ節】	歌唱、鑑賞	民謡特有の発声方法や、保存会の方々の演奏や歌唱を鑑賞してそれを実践してみる。	第1学年	4 時間	日本の民謡や地域の伝統音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう。	【牛深ハイヤ節】	3年生の学習発表会で三味線・太鼓を交えて発表する。 三味線・太鼓に関しては保存会の先生方からご指導いただく。	【第1次】 ◆民謡の音楽的特徴と背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。 ○「牛深ハイヤ節」とハイヤ節の起源になっている民謡を比較しながら鑑賞し、共通する部分や固有性から特徴を感じ取る。 ・保存会の方の唄を聴きながら譜面に気付きを記入し、次時の学習の時間に学びたいことを考える。 ・「牛深ハイヤ節」の歌唱で使われる節回しや旋律の動きを確認する。 【第2次】 ◆声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 ○ゲストティーチャーから唄、歌唱方法を学ぶ。 ・前時の学習の時間で気になったことを保存会の方から教えていただき、歌唱表現の工夫に向けた技能を獲得する。 【第3次】 ◆音色、リズムを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、歌唱表現を創意工夫 ○感じ取ったことをもとに唄い試しながら、創意工夫する。 ・他者からのアドバイスをもとに、練習を行う。 【第4次】 ◆「牛深ハイヤ節」にふさわしい歌唱について、表現の工夫をまとめる。 ○ 学習前と比べて、日本の民謡や「牛深ハイヤ節」に対する考えがどのように変化したか学習を振り返る。		
9	熊本県	我が国	箏の鑑賞と演奏活動	器楽	箏	第1学年	5 時間	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	箏曲「六段の調」、「さくらさくら」	箏のみ	【第1時】 ○速度や旋律の特徴や箏の奏法による音色の違いに関心を持ち、音楽のよさや美しさを味わいながら「六段の調」を聴く。 【第2時】 ○箏の歴史や構造，基礎的な奏法について理解する。 【第3時】 ○箏の基礎的な奏法を身につけて「さくらさくら」を演奏する。 【第4、5時】 ○箏の様々な奏法を身につけて「さくらさくら」を演奏する。		
10	栃木県	我が国		器楽、鑑賞		第1学年	3 時間	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう。	「さくらさくら」「六段の調」	箏	【第1時】 ◆楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏し、器楽演奏に親しむ。 ○箏の基本的な奏法を身に付ける。箏の各部分の名称を理解する。爪の付け方、座り方、左手の置き方、弾き方を身に付ける。 【第2時】 ◆楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏し、器楽演奏に親しむ。 ○講師をお呼びして箏の基本的な奏法を身に付ける。「さくらさくら」の演奏を通して、箏の基本的な奏法を身に付ける。 【第3時】 ◆曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○「六段の調」を歌唱し、箏の音色の特徴を感じ取り、奏法を知る。「六段の調」の構成や序破急について確認する。「六段の調」の良さや美しさについて批評文にまとめ、発表し合う。		
11	新潟県	我が国	器楽：箏 鑑賞：箏曲「六段の調」	器楽、鑑賞	箏の名称や奏法を理解しながら演奏し、余韻の変化を味わって鑑賞する。	第1学年	3 時間	箏の名称や奏法を理解しながら演奏し、余韻の変化を味わって鑑賞する。	箏曲「六段の調」		【第1・2時】 ◆箏の音色や旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、箏の奏法と音色の変化との関わりについて理解する。 ○箏の奏法や旋律を理解し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じ受する。 ・箏の構造や奏法、平調子を理解して、箏に触れる。 【第3時】 ◆箏の音色を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、箏曲「六段の調」を鑑賞する。 ○箏の音色や旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、鑑賞する。 ・箏曲「六段の調」を聴き、気付いたことや感じ取ったことを自分の言葉でまとめる。		
12	熊本県	我が国、諸外国	日本の箏と朝鮮のカヤグム	鑑賞	箏とカヤグムの音色を聴き、アジアの音楽のよさや美しさを感じ受する。	第1学年	2時間	楽器の音色を感じ取り、アジアの音楽のよさや美しさを感じ取ろう。	箏 さくらさくら カヤグム アリラン	箏 3年間を通して、楽譜の難易度や奏法を高度に設定している。	第1時 ◆箏とカヤグムの2つの音色を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、アジアの音楽の歴史について知るとともに、箏やカヤグムの音色や奏法への関心をもつ。 ○箏とカヤグムの音色を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 箏:さくらさくら カヤグム:アリラン を聴き、気づいたことや感じ取ったことを学級全体で共有して、2つの楽器の類似点や相違点を見つけながら、アジアの音楽にはつながりがあることなどを確認する。 第2時 ○第1時での気付きを生かしながら、アジアの音楽のよさや美しさについて、音楽の要素を用いながらまとめる。その後グループ、全体で共有し、箏は日本独自の音楽ではなく、中国や朝鮮半島などのアジアの国々の影響を受けていることを知る。また、世界の音楽は、他の国との歴史や、文化の影響があって今に残っていることを知る。		

13	京都府	我が国	我が国の民謡に使われている囃子詞の音色やリズム、速度を聴き取り、それらを生かして自分たちの音楽を創る活動	創作	民謡から聴き取ることで、音楽を形づくっている要素に気付く。	第1学年	6 時間	我が国や郷土の伝統音楽の魅力を味わおう	「福知山音頭」「ちゃっきり節」「金比羅舟々」「木曾節」「花笠音頭」	GarageBand	【第1次・1時】◆いろいろな民謡を聴き、囃子詞の音色やリズム、速度などに親しみ、音楽を形づくっている要素の関わりを見つける。○いろいろな民謡を聴き、囃子詞を見つけることを通して、楽曲の特徴を感じ取る。 【第2次・4時】◆楽曲の音色・リズム・速度・強弱・反復・変化などを聞き取り、囃子詞を使った音楽をつくる。○音を工夫して囃子詞を使ったリズムをつくる。○創ったリズムをどのように重ねるか、工夫する。○まとまりのある音楽になるように工夫する。 ○まとまりのある音楽をつくる。 【第3次・1時】◆創作したことで培った力を生かし、楽曲の特徴やよさを理解して聞く。	なかなかじっくりと聴くことがない民謡にスポットを当てたことで、合唱曲とは違うよさに触れることができた。
14	栃木県	郷土	地域にある「おはやし保存会」の方々によって受け継がれている盆踊り(お囃子)を、中学校では「ごぐら音頭」として歌詞に地域や学校の魅力を取り入れ、運動会や夏祭り等で演奏しています。元々は有志のメンバーで演奏をしてきましたが、人数の減少によりパートが揃わないことが考えられたため、授業として取り入れ、どの学年も演奏できるよう試みまし	歌唱、器楽	唄と囃し方	第1学年	4時間	楽器の音色の違いを感じ取り、それぞれの特徴を生かして演奏しよう	「ごぐら音頭」(原曲は「日光和楽踊り」)	篠笛、すり鉦、締太鼓、大太鼓	【第1時】◆ごぐら音頭の内容に関心をもつ ○歌詞の内容を理解し、旋律の雰囲気を感じ取りながら歌う。 ・ごぐら音頭の成り立ちについて、教師の説明を聞く。 ・演奏されている映像を見たり音源を聴いたりして、演奏形態を理解する。 ・自校や地域の魅力を取り入れた歌詞であることに気付く。 ・旋律の動きを理解する。 ・歌詞の意味、旋律の特徴を捉えながら歌う。  【第2時】◆大太鼓のパートを演奏する ○大太鼓の奏法やリズムを理解し、演奏表現を工夫する。 ・楽譜を見ながら教師の演奏を聴き、リズムを理解する。 ・膝を叩いて実際に楽譜のリズムを打つ。 ・大太鼓をグループになって教え合いながら演奏する。  【第3時】◆すり鉦のパートを演奏する ○すり鉦の奏法やリズムを理解し、演奏表現を工夫する。 ・楽譜を見ながら教師の演奏を聴き、リズムを理解する。 ・紙コップとペンを使って実際に楽譜のリズムを打つ。 ・すり鉦をグループになって教え合いながら演奏する。  【第4時】◆パートに分かれて合奏する ○これまで学習したことを生かして、唄、すり鉦、締太鼓、大太鼓のパートに分かれて演奏し、全体の響きを感じ取る。 ・締太鼓のリズムパターンを理解する。(1小節のパターンの繰り返し) ・パートに分かれて演奏する。 ・合奏の難しさや自分たちの演奏の課題に触れながら、よりよい演奏の工夫を考える。	図で書かれていたものをリズム譜や五線譜に書き直し、それを生徒に読ませながら演奏できるようにしました。篠笛については演奏できるまでに時間がかかるため、授業外の時間を使ったリ、おはやし保存会の方にご指導をいただいたりしながら練習を進めました。
15	京都府	我が国	日本の楽器の音色に親しもう	器楽、鑑賞	器楽：箏の演奏 鑑賞：「六段の調」	第1学年	4 時間 扱い	日本の楽器の音色に親しもう	「六段の調」「さくらさくら」	箏・文化箏	【第3時】◆いろいろな奏法による音色の変化を感じ取る。 ○箏の演奏 ・「さくらさくら」の練習(基本的な姿勢や奏法を身に付ける) ・「押し手」や「引き色」など、「さくらさくら」や「六段の調」で用いられる奏法を知る。 ・「押し手」「引き色」「かき爪」の奏法をやってみて、音色・響きの特徴や変化を感じ取る。	【第1～3時】箏の演奏(楽器の仕組みや奏法を知り、「さくらさくら」を演奏する。)【第4時】「六段の調」の鑑賞
										○ 創作で用いた楽器(雅楽の楽器を代替楽器で) 代替楽器(人数)	<第1次>(3 時間) 「越天楽」の曲想を知覚・感受し、音色や旋律、リズムとの関わりについて把握する。  【第1時】(鑑賞の1 時間目) ○雅楽「越天楽」を聴いて雅楽らしさを見つける。 ・「越天楽」を聴いて感じたことと気付いたことをメモして発表する。 ・その雰囲気を感じ出している原因として、音色と旋律があり、それらを学ぶことを確認する。 ・雅楽の概要を知る。  【第2,3時】(鑑賞の2、3 時間目) ○「越天楽」の演奏の映像を視聴し、音色を知覚・感受する。 ・雅楽で使われている楽器をDVDで視聴し、その音色と演奏の方法を捉える。 ・楽器の音色と名称、ジャンルを確認する。 ○「越天楽」に使われている特徴的なリズムと旋律を知覚・感受する。(龍笛・鼙鼓・羯鼓) ・主旋律の入りのタイミングと、スレ(音高・リズム)、構成音を捉える。 ・羯鼓のリズムを捉える。	



16	宮崎県	我が国	日本の伝統音楽 雅楽を用いて領域・分野をまたぐ実践	創作、鑑賞	鑑賞で雅楽の特徴を捉えて、その特徴を生かして創作を行う実践	第1学年	8 時間	「雅楽のよさを味わいながら越天楽っぽい音楽をつくろう」	雅楽「越天楽」	<p>龍笛 ソプラノリコーダー (1) 箏 鍵盤ハーモニカまたはキーボード (1) 笙 鍵盤ハーモニカ (2) 鉦鼓 ハンドベル (1) 楽太鼓大太鼓 (1) 羯鼓 小太鼓等 (1) ○2 年になっ たら、楽琵琶・楽箏を箏からギターに変えた ○3 年間の指導 ・ソプラノリコーダー・・・1、 2 年の器楽で指導 ・箏・・・1、 2 年の器楽で指導</p> <p>&lt;第2 次&gt; (4 時間) 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、雅楽らしい旋律をつくる。 【第4 時】 (創作の1 時間目) ○龍笛・箏奏用の主旋律をつくりその味わいを実感するとともに記譜法を獲得し、創作の見通しをもつ。 ・使用する代替楽器を決める。 ・1 小節ずつ全音符を選択する。 ・全音符の音を出発にして、リズムと音を選択して考えた4 小節の旋律に発展させる。 ・一人ずつ発表する。 【第5 時】 (鑑賞の4 時間目) ○代替楽器による「越天楽」の演奏の体験と、楽譜を見ながらの再鑑賞により、雅楽の特徴を捉えとともに、今後使用する楽器の演奏方法や記譜法を確認する。 ・担当楽器を決めて「越天楽」の出だし4 小節を合奏する。 ・楽譜を見ながら再度鑑賞し、各の楽器の雅楽らしい特徴を考え、確認する。(個人 → 同じ楽器 → 班 → 全体) 【第6,7 時】 (創作の2、3 時間目) ○担当楽器の雅楽らしい旋律をつくって合奏する。 ・自分の担当楽器の旋律を個人で考える。 ・ジャンルでペアを組んで相談しながら自分の旋律を再考する。 ・班で合奏して雅楽らしい音楽になるように自分の旋律を調整した後、班ごとの発表を行う。 ○発表をもとに、より雅楽らしい音楽にするための工夫を班で考え、雅楽らしい旋律を作り上げる。 ・発表の評価や「越天楽」の再鑑賞をもとに全体で工夫のポイントを確認する。 ・より雅楽らしくなるように班で再考する。 ・工夫した点を説明しながら班ごとの発表を行う。 &lt;第3 次&gt; (1 時間) これまでの学習を振り返り、「越天楽」のよさや美しさを味わう。 【第8 時】 (鑑賞の5 時間目) ○発表の振り返りや「越天楽」の再鑑賞を行い、自分なりに捉えた雅楽のよさを味わう。 ・発表の録画や前時のメモを見ながら、各班の作品について雅楽らしいと思ったところ、こうすると雅楽らしくなったところなどを全体で伝えあう。 ・再度「越天楽」を鑑賞しながら、これまでの学習を通して自分の考える雅楽のよさや美しさをノートに記述する。</p>	2 年生では、班の人数を5～6 人に減らし、楽箏・楽琵琶のお箏をギターに変えて、「雅楽の特徴を生かして日本の四季の情景を表す音楽をつくろう」という題材で、発展的に創作を実践した。	
17	熊本県	我が国	雅楽	歌唱、鑑賞	越天楽	第1学年	4 時間	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	「越天楽」	<p>箏</p> <p>【第1 時】 ◆曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。 ○越天楽に使われている楽器の特徴を感じ取り、オーケストラとの共通点を理解する。 ・オーケストラによる「越天楽」を聴き、日本の音楽かヨーロッパの音楽か、考える。 ・雅楽は、世界でもっとも古いオーケストラであることを知る。 ・雅楽とオーケストラを聴き比べ、どこが似ているか見つける。 ・雅楽における楽器の種類（吹き物、弾き物、打ち物）毎にまとめ、オーケストラとの共通点を理解する。 【第2 時】 ◆リズム、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○箏奏の唱歌を歌って旋律の特徴を感じ取り、日本の音楽の特徴を考える。 ・雅楽の管絃の演奏を聴き、どの楽器が旋律を担当しているか考える。 ・箏奏の唱歌を歌い、旋律にはどのような特徴があるか考える。 ・塩梅や間の取り方の特徴を理解する。 【第3 時】 ◆リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○管絃とオーケストラの演奏を聴き比べ、指揮者がいないのに、どのように拍を合わせ、合奏をしているのか考える。 ・オーケストラと管絃による雅楽「越天楽」を聴き、違いを考える。 ・オーケストラにはあるが、雅楽の管絃にはない役割を考える。 ・学習者用端末で、「越天楽」の一部分を聴き、どのように合わせているのか、比較しながら考える。 ・雅楽の管絃がどのように合わせているか、まとめる。 【第4 時】 ◆曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもつとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考える。 ○授業で学んだことをもとに、紹介文に雅楽の日本らしいよさや美しさについてまとめ、伝統音楽を大切にしていこうという学びにつなげる。 ・各楽器の役割と雅楽の歴史と種類について、まとめる。 ・長い間、受け継がれてきた雅楽のよさと、これから大切にしていきたいことを、オーケストラの「越天楽」と比べ、雅楽「越天楽」のよさや美しさをもとに、紹介文にまとめ、発表する。</p>	<p>○オーケストラによる「越天楽」と比較させることで興味・関心をもたせ、学びの視点を明確にし、我が国の音楽のよさや美しさを感じ取ることができるようになる。 ○「越天楽」の旋律の一部を歌わせることで、旋律の特徴を感じ取らせ、日本の音楽の特徴を感じ取ることができるようになる。 ○「世界最古のオーケストラ」の雅楽の演奏、どのように合わせて演奏しているのか、テクスチャを考えさせるとともに、間の取り方や拍子管など、日本音楽のよさを感じられるようにする。</p>	

18	岐阜県	我が国、諸外国	雅楽「平調 越天楽」 「木片の音楽」(スティーブ・ライヒ) 「Ewe」(ガーナの民族音楽)	創作、鑑賞	雅楽のもつ「間」とは対照的に軽快に続くガーナの音楽のリズムの対比を通して音楽の多様性について理解し、そのよさを味わう。	第1学年	5時間	日本古来から伝わる音楽『雅楽』と世界の歴史ある民族音楽	雅楽「平調 越天楽」 「木片の音楽」(スティーブ・ライヒ) 「Ewe」(ガーナの民族音楽)	マリンバ・クラベス・ウッドブロック・コンガ・ボンゴ	【第3時】 ◆雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴と、文化的・歴史的背景とを結びつけて考えることで、日本の古来から伝わる雅楽のよさや価値について自分なりの考えをもち、味わって聴くことができる。 ○雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴と雅楽の文化的、歴史的背景とを結びつけて考え、味わって聴く。 ・雅楽「平調 越天楽」の音楽の構造について交流する。 ・雅楽「平調 越天楽」の音楽の特徴と雅楽の文化的、歴史的背景を結びつけて考える。 ・少人数グループで意見交流する。 ・雅楽「平調 越天楽」を通して聴き、雅楽の魅力について自分なりに考えたことを批評文にまとめる。 ・再度「平調 越天楽」を聴き、味わう。		
19	栃木県	我が国	箏曲を用いて、我が国の伝統的な音楽に親しむ内容。	器楽、鑑賞	箏曲を鑑賞したり、箏を演奏したりする。	第1学年	2時間	箏や箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	箏曲「六段の調」	箏：箏に親しむことで、3年間を通して、日本の伝統的な音楽や、時代や地域に合わせた移り変わりについて（日本の音楽の歴史や郷土の祭りなどに）触れ、その魅力に気づかせる。また、世界の諸民族の音楽と比較して、互いの魅力について考える。	【第1時】 ◆箏曲を聴き、箏の音色や響きに関心を持つとともに、箏の構造や奏法と響かせ方、唱歌との関わりについて理解する。 ○箏は奏法によって数々の響きがあることを知覚し、それらの響きが生み出す特質や雰囲気を感じる。 ・箏曲「六段の調」の初段を聴き、気付いたことや感じ取ったことを共有する。 （身近な楽器であるピアノやリコーダーとは違い、色々な響かせ方があることに気づかせる。） ・箏の奏法を使って、「六段の調」の冒頭部分を箏で演奏したり、唱歌で歌ったりして、響きの変化による箏曲の魅力を楽しむ。 【第2時】 ◆箏曲を聴き、箏の様々な響きに関心をもつとともに、「段物」の音楽の構成や、日本音楽ならではの速度の変化や唱歌について理解する。 ○いくつかの部分（段）で構成されていることを知覚し、箏の響きとともに速さの変化が生み出す雰囲気を感じる。 ・箏曲「六段の調」の初段を唱歌で歌い、奏法による響きが生み出す雰囲気を感じる。 ・箏曲「六段の調」を段ごとに聴き、共通点や違いについて気付いたことや感じ取ったことを共有する。 （ところどころ同じような旋律があることや、だんだん速くなること、最後は急激に遅くなることに気づかせる。） ・箏曲「六段の調」を通して聴き、箏の音色や奏法による響き、速度の変化に注目して、箏曲のよさや美しさを味わう。	特にありません。	
20	栃木県	我が国		器楽、鑑賞	栃木県人権教育推進の内容「豊かな人間性に関すること」に含まれ、盲目の人たちの気持ちや箏曲を作曲した偉大さ、大変な努力があって曲が生まれてきたことに共感させる（感受性）とともに、学習活動の中で友達の意見に耳を傾け、一人一人の個性を尊重し共感する態度を身に付けさせる。	第1学年	3時間	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	箏曲「六段の調」、「さくらさくら」、「平家物語」、「春の海」、「津軽じょんがら節」	箏 1 学年で奏法を習得し、さくらさくらを2人一組、または3人一組になって演奏する。 2 日本の伝統的な楽器や作曲家について知る。 ＊「平家物語」（琵琶） ＊「春の海」（尺八） ＊「津軽じょんがら節」（津軽三味線）の3曲を聴き楽器について興味をもつ。 ・興味・関心をもって活動に取り組めるよう、楽器の音色を聴きながら、楽器の写真や作曲家の肖像画を見せるなど、主体的に考えさせる手立てを工夫する。 ※ 提示した肖像画などから、視覚障害のある人たちが音楽に関わっていたことに気付かせる。 3 学習内容とねらいを確認し、本時の学習に見通しをもつ。 ・箏曲「六段の調」を鑑賞し、箏の音色や奏法の特徴を感じ取ったり、作曲者はどんな思いで曲を作ったのか考えたりする学習であること説明し、主体的な学習を促す。 4 箏曲「六段の調」を鑑賞する。 ・箏の音色や奏法、速度の変化による演奏効果などの特徴を感じ取れるよう助言する。 ・資料をもとに、楽曲の歴史的背景や八橋検校の生涯について説明する。 5 資料をもとに、視覚障害をもつ人がどのように作曲したのかについて話し合う。 ・より日本の伝統的な音楽のよさや美しさを感じさせるため、作曲者の生涯やその背景にある文化や歴史、作曲者の思いなどについて、互いの考えを共有するグループ活動を取り入れる。 6 目を閉じて再度「さくらさくら」を演奏し、気付いたことをグループで共有する。 ・話し合ったり、考えを共有したりしたことを生かして演奏するように助言する。 ※目を閉じることで、箏に慣れて演奏するまでには、相当な努力が必要であったことに気付かせる。 7 これまでの学習を振り返りながら、学習のまとめをする。 ・学習のまとめとして、視覚障害のある人々が楽器やその奏法の基礎を確立し、現代まで継承したり、伝統音楽の発展のために尽力したりしてきたことに気付かせる。	202509011737-tochigi_takaragi.pdf		

21	静岡県	我が国	静岡県に伝わる民謡	歌唱、鑑賞	民謡における歌唱や鑑賞	第1学年	3時間	民謡にはどのような音楽的特徴があるのだろうか	ちゃっさり節、ソーラン節	箏の基本的な奏法について3年間の中で一定期間の実践期間を設定			
22	長崎県	我が国	日本の音楽	器楽	箏の授業	第1学年	5時間	六段の調	さくらさくら、七つの子				
23	長崎県	我が国		鑑賞		第1学年	3時間	日本に古くから伝わる箏の音色を味わい、触れてみよう	箏	<p>第1時 箏曲「六段の調」を鑑賞し、箏の音色を感じ取る。</p> <p>◆ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・箏曲「六段の調」を鑑賞し、箏の音色や奏法に注目して聴く。</li><li>・旋律や速度の変化の特徴を感じ取ったりする。</li></ul> <p>○学習内容・学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・DVDで「六段の調」、「箏の基礎的な奏法について」を鑑賞する。</li><li>・聴き取ったことと感じ取ったことについてワークシートに書く。</li><li>・聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えたことを話し合う際、実音で確かめるなどし、より音楽を味わって聴く。</li></ul> <p>第2時</p> <p>◆箏の基礎的な奏法を身に付け、「さくらさくら」を練習する。</p> <p>○学習内容・学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教師の演奏と説明を聞き、基礎的な奏法を確認する。</li><li>・姿勢と構え方を確認し、「虫づくし」を練習する。爪を押し付けるようにして弾き、次の糸に当てて止める音の出し方を身に付ける。</li><li>・「さくらさくら」の「みわたすかぎり」までを練習する。</li></ul> <p>第3時</p> <p>◆楽器にふさわしい音色や奏法で「さくらさくら」を演奏する。</p> <p>○学習内容・学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・姿勢と構え方を確認後、「虫づくし」を演奏し、音の出し方等を復習する。</li><li>・前時の復習として「みわたすかぎり」までを演奏する。</li><li>・押し手（弱押し）の奏法を身に付け、曲の後半部を練習し、最後まで通して演奏できるよう練習する。</li><li>・全員で心を合わせ、「さくらさくら」を演奏する。</li></ul>			
24	静岡県	我が国、郷土		鑑賞		第1学年	2時間	日本全国民謡巡り	ソーラン節、南部牛追い歌、こきりこ、ちゃっさり節、阿波踊り、五木の子守唄、エイサー等	日本の各地域の民謡が、気候風土、自然環境及び人々の暮らしの中で、その地域性や独自性を育んできたことに気付かせたい。			
25	長崎県	我が国		器楽、鑑賞	箏の奏法と、箏曲「六段の調」の鑑賞	第1学年	4時間扱い	日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう	さくらさくら箏曲「六段の調」	<p>箏</p> <p>箏の基本的な奏法を身に付け、簡単な曲を演奏させています。</p>	<p>【第1時】</p> <p>◆箏の基本的な奏法を知る。</p> <p>○箏の歴史、各部位の名前、調弦の仕方、基本的な奏法について知る。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆箏の基本的な奏法を知る②</p> <p>○箏の基本的な奏法に留意しながら「さくらさくら」の練習をする。</p> <p>【第3時】</p> <p>◆箏を用いて「さくらさくら」の練習をする。</p> <p>○爪の位置、膝の角度、左手の位置、止めなどに留意し「さくらさくら」の練習をする。</p> <p>【第4時】</p> <p>◆箏曲「六段の調」について知り、旋律の特徴、「速度の変化などに気をつけながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○六段発祥の地といわれる、地元である諫早の慶厳寺や本明川との関わりなども触れながら想像して聴かせる。</p>	箏の奏法では、「演奏の流れを止めない」「仲間と協力する」という経験を積ませるために、リレー演奏なども取り入れて練習しています。	
26	栃木県	我が国	日本の伝統音楽（箏曲）について	器楽、創作、鑑賞	箏曲の鑑賞から楽器について学び、簡単な創作活動を取り入れる	第1学年	5時間	日本の伝統音楽に親しもう	六段の調べ、さくらさくら	<p>箏</p> <p>【第1時】</p> <p>○「六段の調」を鑑賞し、曲や箏の魅力について知る。</p> <p>○箏の基本的な知識を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・箏の音色や楽器の良さを味わえるようなワークシートの工夫をする。</li></ul> <p>【第2時】</p> <p>○箏の基本的な奏法を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・よい姿勢や爪の付け方、構え方など基本的な奏法を確認して演奏できるようにする。</li></ul> <p>【第3時】</p> <p>○前時の授業を振り返り、正しい奏法に気を付けながら、グループで「さくら」の練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「さくら」の簡易楽譜を用意し、弦の番号を歌いながら箏の練習を行うようにする。</li></ul> <p>【第4時】</p> <p>○「さくら」に合う装飾を加えたオリジナルのさくらを創作する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・様々なさくらの画像を提示したり、箏の奏法を示したりして、思いやイメージに合った旋律を作れるよう助言する。</li></ul> <p>【第5時】</p> <p>○箏の音色を味わいながら演奏し、オリジナルのさくらを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・表現の工夫ができるよう、音色や速度に意識をもたせる。</li></ul>			

27	千葉県	我が国		鑑賞		第1学年	3時間	箏曲の特徴を感じ取り、よさや美しさを味わう	六段の調	箏	<p>【第1時】</p> <p>◆箏曲について学び「六段の調」の特徴について理解する。</p> <p>○作曲者や楽曲について理解する。初段から五段までを鑑賞する。</p> <p>・聴き取ったことや感じ取ったことをワークシートにまとめる。</p> <p>・初段の冒頭を弾き、特徴を感じ取る。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆「六段の調」の日本らしさはどこにあるのか理解する。</p> <p>○初段の口唱歌を紹介し、口唱歌がどうしてあるのかを考える。</p> <p>・ワークシートに考えを記入し、映像で鑑賞したときに聴き方がどう変わるかを共有する。</p> <p>○事特有の奏法から生み出される音色の効果を考える。</p> <p>・どのような特徴があるのか考えながら六段目を鑑賞する。</p> <p>・グループごとに映像で鑑賞し、実際に箏に触れて奏法の効果や音色の変化について話し合う。</p> <p>○「六段の調」の日本らしさはどこにあるのかを理解する。</p> <p>・本時の学習内容を整理し、箏の旋律や音色の特徴をつかんでワークシートに記入する。</p> <p>【第3時】</p> <p>◆箏曲「六段の調」のよさや美しさを味わう。</p> <p>○音色や旋律を知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わう。</p> <p>・箏曲のよさや魅力について音楽的な特徴やこれまでの学習で理解したことを関連付けながら、紹介文を書く。</p> <p>・友達の紹介文を読み、知覚・感受した内容の共通点や相違点について知り、音楽のよさや美しさについて自分の考えを深める。</p>		
28	静岡県	郷土	森町で古くから箏が演奏されています。	器楽	箏による演奏	第1学年	3時間	楽器の音色を感じ取り、「さくらさくら」を箏で演奏しよう	さくらさくら	箏の音色に着目し、1年はさくらさくらの演奏、2年はその伴奏付け、3年は六段の調を演奏します。	<p>【第1時】</p> <p>箏の特徴を知る</p> <p>【第2時】</p> <p>箏の奏法を知り、身に付ける</p> <p>【第3時】</p> <p>「さくらさくら」を演奏しよう</p>		
29	三重県	我が国		歌唱、器楽、創作、鑑賞		第1学年	6時間	日本の伝統音楽に親しむ	六段の調・さくらさくら	箏 毎年、箏を演奏する機会を作る。学年を追うごとに選ぶ曲のグレードを上げる。	<p>◆箏の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりについて知るとともに、箏の音色や奏法への関心をもつ。曲想と音の重なり方との関わりについて理解する。</p> <p>【第1時】</p> <p>○箏の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p> <p>・「六段の調べ」を鑑賞し、箏の奏法や音色で気付いたことや感じ取ったことを共有する。</p> <p>【第2時】</p> <p>○箏の出し方、片づけ方、扱い方を知る。箏の奏法を知る。「さくらさくら」を練習する。</p> <p>【第3～4時】</p> <p>○中間発表会</p> <p>【第5時】</p> <p>○「さくらさくら」の前奏を自分で考えて、練習する。</p> <p>【第6時】</p> <p>○発表会をして、お互いの演奏を聴きあう。</p>		
30	静岡県	我が国	箏	器楽		第1学年	4時間くらい	箏の音色を味わいながら演奏しよう	「さくらさくら」		<p>【第1時】 箏の奏法や楽譜の読み方について</p> <p>【第2時】 「さくらさくら」の基本的な奏法について学び演奏する。</p> <p>【第3時】 「さくらさくら」箏の音色を工夫しながら演奏する。</p> <p>【第4時】 「さくらさくら」箏の音色を味わいながら演奏する。</p>		
31	千葉県	我が国		器楽	「平調越天楽」「六段の調べ」の鑑賞をし箏の奏法について知った後に、器楽の領域として「さくらさくら」を演奏する。	第1学年	3時間	箏の音色や奏法を意識して演奏しよう。	「平調越天楽」「六段の調」「さくらさくら」	箏を2つ使用し、1つの箏で3人演奏する形。			
32	京都府	我が国		鑑賞		第1学年	3時間	日本に古くから伝わる合奏に親しもう	雅楽「越天楽」		<p>【第1時】◆雅楽の歴史や楽器の特徴を理解し、それぞれの楽器の音色を感じ取ろう</p> <p>○雅楽の歴史について学ぶ/雅楽で使われる楽器の名前を確認/それぞれの楽器を実際に演奏して、またはデジタル教科書の映像の音を使って鑑賞する</p> <p>【第2時】◆雅楽「越天楽」の魅力、よさや美しさを味わおう</p> <p>○アの部分で「音色」「音の重なり」に分けて鑑賞/「拍」と「間」について/唱歌を体験する/まとめ:紹介文を書く</p> <p>【第3時】◆雅楽「越天楽」の魅力、よさや美しさを紹介しよう</p> <p>○紹介文を発表する</p>		
33	京都府	我が国		歌唱、鑑賞		第1学年	3時間	箏の特徴を理解し、音色を味わいながら演奏しよう	鑑賞「六段の調べ」器楽「さくら」	箏			
34	静岡県	我が国		器楽		第1学年	4時間扱い	音色の特徴を生かして演奏しよう		箏	<p>【第1時】</p> <p>◆箏について知る</p> <p>【第2時】</p> <p>◆簡単な奏法を身に付ける</p> <p>【第3時】</p> <p>◆さくらさくらを演奏する</p> <p>【第4時】</p> <p>◆押し出やひき色などの奏法を使い、表現の工夫をする</p>		

35	長崎県	我が国、郷土	長崎県対馬のしんき節の鑑賞	創作、鑑賞	創作・・・「日本音階を使って町まりのある旋律をつくる」 鑑賞・・・「箏曲 さくら さくら」	第1学年	2 時間	「日本音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう」	「さくら さくら」	箏 1 年・・・平調子に調弦された箏で簡単な旋律をつくる活動を通して、箏のいろいろな奏法を身につける。 2 年・・・構成を理解させ、リズムアンサンブルをつくる活動を通して、反復、変化させたり工夫しながら創作させる。 3 年・・・提示されたリズムパターンを組み合わせ、即興的に音楽をつくる活動を通して様々なリズムに親しませる。	【第1 時】 ◆日本の音階の雰囲気を感じ取り、創作に必要な音階の構成音や条件を知り、創作への関心を持つ。 ○日本音階の特徴を知覚し、創作に必要な構成や条件について知る。 ・教科書から日本音階について学習する。 ・4 分の4 拍子で4 小説のリズムを作る。 ○箏の特徴を生かし、イメージを持って創作する。 ・授業者の創作例を聴く。 ・自分の表現したいイメージやペアの役割を考えながら旋律をつくる。 【第2 時】 ◆日本音階の特徴を生かした音楽表現にするために必要な、課題や条件に沿った音の組み合わせなどを理解し創作する。 ○日本音階の特徴に関心を持ち、創作する。 ・旋律を聴きあい、つながりや構成を考える。 ・旋律の上り下りに気をつけて短い旋律をつくる。 ・ペアで旋律をつなげられたら、ワークシートに記譜する。 ○旋律を完成させて、演奏する。 ・聴きあう活動を生かし、自分たちの作品を工夫して旋律づくりをする。 ・旋律づくりを通して、気づいたことや感じたことをワークシートに記入する。		
36	茨城県	我が国		器楽、鑑賞	箏の演奏	第1学年	4 時間	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	虫づくし、さくらさくら、箏曲「六段の調」	箏 【第1 時】 ◆曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○箏曲「六段の調」を聴き、曲の構造や演奏法について知る。  【第2 時～第4 時】 ◆楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 ○「虫づくし」、「さくらさくら」を演奏し、演奏法について知る。			
37	東京都	我が国、諸外国	我が国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう。	鑑賞	民族音楽の鑑賞。	第1学年	4	我が国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう。	八木節、江差追分、ケチャ、ホーミー				
38	茨城県	我が国	茨城県の民謡（磯節や網のし唄）の大会の様子を鑑賞し、歌ってみる。	歌唱、鑑賞	民謡を鑑賞し、歌うことにチャレンジする	第1学年	2 時間	人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう	網のし唄、磯節、ソーラン節など		【第1 時】 ◆音楽を形づくっている音階やリズム等の要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、鑑賞する。		
39	茨城県	郷土	鹿嶋市の祭りについて	器楽、鑑賞	郷土に伝わる民謡、雅楽	第1学年	2 時間	日本に古くから伝わる合奏を聴こう、郷土に伝わる民謡を調べよう	神幸祭	雅楽の各楽器の音色を聴くことができるDVDを鑑賞しながら、楽器の特徴を知る。	【第1 時】 ◆楽器の音色や旋律の特徴等に気を付けながら、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○雅楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ・管絃で使われる楽器とその役割	鹿島神宮の四季、鹿島神宮の行事、雅楽越天楽（学校音楽鑑賞用DVD教材）を使用しています。	
40	長崎県	我が国、諸外国	・我が国の古くから伝わる雅楽について（諸外国から伝わった説明含む） ・諸外国の伝統音楽や楽器の特色について	器楽、鑑賞	・箏曲「六段の調」鑑賞後に、箏の実技演習実施	第1学年	鑑賞1. 5 時間、実技1. 5 時間	・日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。 ・箏の音色や響きと奏法を体感しよう。	「六段の調」→「さくらさくら」	箏…第1 学年 アルトリコーダー…全学年合唱コンクールを除いて、毎時間の導入時に1 0 分間	【鑑賞】 ◆箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう ○箏の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○箏の音色や響きと奏法との関わりについて理解し、楽しみながら演奏活動をする。 ・鑑賞 → 音の特徴を知る、序破急の特徴を知る ・器楽 → 音の特徴を感じる、「さくらさくら」を演奏する、アルトリコーダーとのアンサンブル		
41	千葉県	我が国	我が国でも広く親しまれている盆踊りを題材に和太鼓を使って回し打ちを試みる。	器楽	盆踊の楽曲である民謡と絡めながら、基本的な太鼓のリズムを口で歌い覚えて、実際にまわしうちしてみる。	第1学年	1 時間	色々なリズムに親しみながら、和太鼓の回し打ちを体験してみよう。	九州炭坑節	和太鼓 1 学年の1 学期に和太鼓に軽く触れ、3 学期に正月の音楽に絡めながら琴に触れる。2 学年では、歌舞伎に触れ更に多くの和楽器や日本の総合芸術である歌舞伎を分析して聞く。3 学年では時数の関係で取り扱っていません。	【第1 時】 ・簡単なリズムを教員の後に続いてみんなで打ってみる。 ・いろいろな言葉に当てはめてリズムを打てるようになる。 ・和太鼓の音色を聞いてみる。 ・九州炭坑節を聞く。 ・和太鼓のリズム練習。 ・全体で回し打ちをしてみる。	1 学年の1 学期の最後に楽しみながらできる教材として入れているので、そこまで深くは取り組んでいません。 和太鼓は応援練習のときなどにつかっているものを使っています。	

42	茨城県	我が国	我が国の古くから伝わる音楽	鑑賞	雅楽から発展したであろう民謡、仕事歌などから発展したであろう民謡の調べ学習や鑑賞	第1学年	3 時間	雅楽から今に伝わるもの「越天楽」「民謡」	越天楽、越天楽今様、黒田節	<p>【第1時】 ◆ねらい 日本最古のオーケストラ「雅楽」から今に伝わるもののほかのものがあるだろう ○越天楽に使われている楽器、伝承の仕方について</p> <p>【第2時】 ○平安時代から今に音楽や言葉がどのように伝承・発展しているだろう。</p> <p>【第3時】 ○「黒田節」とは違うジャンルの民謡にはどのようなものがあるだろう。</p>		
43	千葉県	我が国	我が国	器楽、鑑賞	体験学習、鑑賞	第1学年	3 時間 抜い	日本の伝統音楽に親しみ、その良さを味わおう	日本古謡「さくら さくら」、箏曲「六段の調」	<p>◆箏の基本的な奏法や楽器の特徴を理解し、体験学習に取り組む。 「さくら さくら」</p> <p>◆箏の音色や旋律の特徴、速度の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特徴や雰囲気を感じながら、箏の音色や奏法との関わりについて知るとともに、箏曲のよさや美しさを味わう。「六段の調」</p> <p>○調弦の一つである、平調子を知覚する ・教師の演奏により、都節音階を感じ取る。 ○左手を用いた奏法について、理解する。 ・この曲で用いられる引き色、後押しの奏法を聞き、音高や余韻の変化、曲想 へのかかわりを感じ取る。 ○箏の音色を知覚し、箏や箏曲の特徴を感じ取る。 ・初段、三段、五段を聞き比べる。音色、速度、曲想の変化を感じ取る。 ・音色、速度、曲想の変化や奏法について、感じ取ったことをワークシートに記載し、ペアで意見交換後、発表し、他のペアの意見を聞き、理解を深める。</p>	特になし。	
44	茨城県	我が国	地域の特色ではないが、地域で箏の先生をしている方をGTにお迎えして、授業を実施している。	器楽	地域で箏の先生をしている方をGTにお迎えして、授業を実施している。	第1学年	2 時間	箏の響きに親しもう	さくらさくら	<p>1 年では、さくらさくらのような親しみやすい楽曲を使用して親しむ。 2・3 年では、1 年での既習事項からアンサンブル（2 重奏や3 重奏）を行う。</p> <p>【第1時】 ◆箏の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色や響きと楽器の構成や奏法との関わりについて知るとともに、箏の音色や奏法への関心をもつ。 ○箏の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ・G T の模範演奏を聴く。 ・奏法の違いから生み出される音色の違いを捉える。 ・さくらさくらを練習する。 ・さくらさくらの演奏から「押し手」「合わせ爪」などの奏法を知る。</p> <p>【第2時】 ○箏の音色や響きと楽器の構成や奏法との関わりについて理解し、演奏を工夫する。 ・G T の演奏から既習の奏法を復習する。 ・さくらさくらの演奏を通して、「押し手」や「合わせ爪」などを効果的に使い、演奏を工夫する。</p>	特になし	
45	茨城県	我が国		器楽		第1学年	2 時間	箏に親しもう	さくらさくら	<p>箏 第2・3 学年では、箏の演奏体験をもとに和楽器の鑑賞を展開しています。</p> <p>【第1時】◆ねらい 箏について知ろう。 【第2時】◆ねらい 箏に親しもう。 ○学習内容 プロの演奏家による生演奏や楽器の講義を受けて、箏に親しむ。 演奏を聴く。 箏の説明を聞く。 実際に箏に触れ、弾いてみる。</p>		
46	茨城県	我が国	雅楽「平調 越天楽」や箏の実技、鑑賞など。	歌唱、器楽、鑑賞	雅楽「平調 越天楽」や箏の実技、鑑賞など。	第1学年	4 時間	日本に古くから伝わる音楽に親しみ、その魅力を味わおう	雅楽「平調 越天楽」 箏曲「六段の調べ」	<p>【第1時】 ◆ねらい 日本の伝統音楽のよさを味わうことができる。 ○学習内容・学習活動 ①雅楽の歴史と楽器について学習する。 ②「越天楽」の鑑賞をする。 ③箏の歌唱を歌う。</p> <p>【第2時】 ◆ねらい ・日本に古くから伝わる箏の魅力味わうことができる。 ○学習内容・学習活動 ①箏の歴史と楽器について学習する。 ②箏曲「六段の調」の鑑賞をする。</p> <p>【第3時、第4時】 ◆ねらい ・箏の奏法について知り、「さくらさくら」の旋律を演奏することができる。 ①箏の奏法について確認する。 ②グループで交代しながら、「さくらさくら」の旋律の練習をする。 ③できたところまで、全員で合わせる。</p>		
47	静岡県	我が国	箏	器楽	箏の演奏	第1学年	2 時間	箏の演奏を体験しよう	「さくらさくら」	<p>箏</p> <p>第1時 姿勢・爪の使い方・基本の奏法を身につけよう 第2時 さくらさくらを演奏しよう</p>		

48	茨城県	郷土	郷土に伝わる民謡を調べよう	鑑賞	自分たちの地域及び全国の郷土民謡についてインターネット等を活用して調べる学習	第1学年	2 時間	郷土に伝わる民謡を調べよう	教科書に掲載されている曲		<p>【1 時】</p> <p>◆郷土に伝わる民謡を調べてみよう</p> <p>○茨城県・関東地域に伝わる郷土民謡にはどのようなものがあるかインターネット等を活用して視聴する（全体）</p> <p>○茨城県・関東地域を含む全国に伝わる郷土民謡にはどのようなものがあり、どのような特徴や良さがあるかインターネット等を活用して視聴し、まとめる（個人）</p> <p>【2 時】</p> <p>◆郷土に伝わる民謡の特徴や良さを発表しよう</p> <p>○前時に調べてまとめた内容を、グループ内で発表し合う。</p>		20250929 0956- ibaraki_i na.pdf
49	茨城県	我が国	雅楽「越天楽」	鑑賞	雅楽の楽器の音色に関心を持ち、雅楽のよさや美しさを味わう。	第1学年	2時間	日本に古くから伝わる合奏を聴こう	雅楽「平調越天楽」		<p>【第1時】</p> <p>◆雅楽「平調越天楽」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。</p> <p>○日本に古くから伝わる音楽に関心を持ち、学習への見通しを持つ。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆雅楽「平調越天楽」に使われる楽器の音色、リズム、旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○拍の取り方や間について、理解を深め、曲や演奏に対する評価を自分なりに考える。</p>		
50	静岡県	我が国	箏曲（本年度は招いていません）地域の箏の師範を招き、ＴＴでの授業実践。	器楽	箏を弾く	第1学年	4 時間	さくらの変装（変奏）	さくら	<p>1 年時のさくらは、メロディを弾き、右手、左手の奏法を用いて「～なさくら」という副題をつけて、アレンジをする</p>	<p>&lt;第1 時&gt; 「六段の調べ」鑑賞</p> <p>&lt;第2 時&gt;◆箏の弾き方を知る ○右手の奏法で、さくらを弾く</p> <p>・箏の演奏法について説明。・箏でさくらを弾く ・座り方、右手、左手の使い方、置き方を指導 ・さくらのメロディが弾けるようにする</p> <p>&lt;第3、4 時&gt;◆「○○なさくら」さくらの変装（変奏） ○左手の奏法を知り、その音のニュアンスを言葉で表現する ・左手の奏法を知り、その音のニュアンスを言葉で表現する。・○○なさくら、と副題をつけ、さくらをアレンジする。 ・発表会で聴きあう</p>	特になし	
51	静岡県	我が国	雅楽	鑑賞	雅楽の鑑賞とそのあと和楽器等を用いて演奏します。	第1学年	3 時間	日本の伝統文化である雅楽の魅力味わおう。	雅楽「越天楽」	<p>各学年で ソプラノリコーダー アンサンブル</p>	<p>第1時 雅楽の音楽の特徴を感じ取ろう。</p> <p>鑑賞し気付きをメモし、発表しあう</p> <p>第2時 1300年続いてきた理由を考える</p> <p>個人で仮説を立て、個人で調べ、グループで話し合う</p> <p>第3時 雅楽の音楽を奏でよう。</p> <p>和太鼓、締め太鼓、あたりがね リコーダー、オルガン（筆筆に近い音）で合奏。</p> <p>雅楽の魅力について自分の考えをまとめる。</p>	特にありません。	
52	茨城県	郷土	郷土に伝わる民謡を調べよう	鑑賞	民謡の鑑賞	第1学年	2時間	日本の民謡に親しむ	<p>日本各地の民謡（ソーラン節）（南部牛追い歌）（金毘羅船々）（磯節）（鹿児島おはら節）（谷茶前）</p>		<p>◆ねらい</p> <p>日本の各地には、その気候や風土、生活や風習、行事など、その地域に住む人々の生活に密着したものが多く、古くから現代にまで受け継がれている。日本の代表的な郷土の民謡を教材とすることにより、使われている音階の雰囲気や特徴を感じ取らせ、日本の音楽のよさと共に、なぜそのような音楽が生まれ、歌い継がれてきたのかを考えながら、音楽を深く感じることができる。</p> <p>○学習内容</p> <p>第1 時</p> <p>日本の各地に伝わる民謡を聞き、様々な民謡が歌い継がれていることを知る。</p> <p>第2時</p> <p>各地の音楽の特徴を音階、音域、音色、リズムなど音楽を構成する要素から考えさせ、その地方の気候や生活など調べながら関わりを見つけ、その音楽が生まれた背景と音楽の関わりを考える。</p>		
53	京都府	我が国	日本の伝統音楽である箏曲	器楽	箏	第1学年	3	日本に古くから伝わる箏曲を弾いてみよう。	「さくら さくら」	やっていない。		時になし	
54	愛媛県	我が国	箏の学習を3年間通して行い、我が国の音楽の魅力や特徴を味わわせる。	器楽、鑑賞	箏曲の鑑賞と合わせて基礎的な奏法を学び、「さくらさくら」及び「六段の調」の初段の演奏に挑戦する。	第1学年	4 時間	箏の豊かな表現を味わおう	「さくらさくら」「六段の調」「さくら変奏曲」	<p>箏による表現や創作の学習を行っている。</p>	<p>【第1 時】◆箏の音色や響きを味わいながら箏曲「六段の調」を鑑賞する。また、押し手や引き色などの奏法と関わる音色の変化、楽曲全体の速度の変化などから表現の特徴を聴き取る。</p> <p>【第2 時】◆右手の基礎的な奏法を身に付け、箏の音色や平調子の響きを感じ取って「さくらさくら」を演奏する。</p> <p>【第3 時】◆箏の音色や奏法、音楽全体の構造などに着目して、間や序破急などを理解しながら箏曲「六段の調」を鑑賞する。また、段物や平調子などと関連する表現の特徴を捉え、箏の豊かな表現を聴き取る。</p> <p>【第4 時】◆箏の音色、拍子や速度の変化、主旋律と変化する旋律などを聴き取り、特質や雰囲気を感じ取りながら「さくら変奏曲」を鑑賞する。</p> <p>○本時の学習課題を確認する。</p> <p>・演奏曲目、演奏者の紹介を聞き、鑑賞のめあてを考える。</p> <p>○「さくら変奏曲」を鑑賞する。</p> <p>・箏の音色、速度や拍子、旋律の変化や装飾を聴き取り、外部講師の生演奏による「さくら変奏曲」を鑑賞する。</p> <p>○「さくら変奏曲」の特徴を聴き取る。</p> <p>・第一箏、第二箏、十七弦の旋律や奏法を聴き、それぞれの役割を考えたり、旋律や音の重なりなどの構成に気を付けて聴いたりする。</p> <p>○「さくら変奏曲」について、鑑賞文をまとめる。</p> <p>・学習した内容を結び付けながら「さくら変奏曲」を鑑賞し、自分の考えを批評文にまとめる。</p>		

55	埼玉県	我が国		鑑賞		第1学年	2～3	雅楽がなぜ当時の人々に好まれていたのか探ろう	越天楽		第1時 雅楽のテンポの遅さを体感させる。太鼓の動画を見ながら、一緒に叩く真似をする。  遅いと感じる理由を、時代背景と関連付ける。（生活リズムが現代よりかなりゆったりしている一音楽もゆったり。むしろそれがその時代の人々には適しているのではないかと）  第2時 雅楽で使用されている、日本の伝統楽器を知る。		
56	熊本県	我が国	鑑賞 雅楽「平調 越天楽」箏曲「六段の調」器楽 箏 篠笛	器楽、鑑賞	鑑賞で六段の調を学習し、その後、地域のお箏の先生をお呼びしてお箏を実践する。	第1学年	3時間	日本に古くから伝わる箏に親しもう。	さくらさくら	箏 箏の先生をゲストティーチャーに呼んで、実際に箏に触れ親しむ。	【第一時】◆箏について知ろう。○箏の各部の名称や調弦について知る。また、六段の調を聴いて、引き色や後押しの音色に気付き、どのような奏法で演奏しているのかグループで考え、試してみる。 【第二時】◆箏に親しもう。○グループに分かれ、「さくらさくら」の演奏に挑戦する。（ゲストティーチャーに地域の箏の先生を招く）	第二時では、箏の先生から7面借りて、各グループに一面づつ用意してなるべく箏に触ることができるようにした。	
57	茨城県	我が国、諸外国	箏 オペラ	器楽、鑑賞	【器楽】箏 【鑑賞】オペラ、世界の民族音楽	第2、3学年	2時間程度	【箏】楽器の音色を感じ取り、箏の特徴を理解して演奏につなげよう。	【箏】さくらさくら	アルトリコーダー タンギングやサミングの方法を身に付け、低音～高音を用いて簡単な曲を演奏できるようにする。（教科書にない曲も扱う）			
58	長野県	我が国	現代、そして未来を生きた生徒が、長い間、価値あるものとして継承されてきた平曲を鑑賞し、文化を継承、創造する概念を獲得することを目指した学習。	鑑賞	「平曲は受け継がれるのか」について考える。 新しい編曲による平曲の音楽的特徴及び物語の内容から曲想を感じ取り、よさや美しさを見いだすことで、平曲の創造的継承への理解につなげる。	第2学年	1時間	平曲は受け継がれるのか	平曲「敦盛」※琵琶ユニット「びかむ」により、編曲されたもの		【第1時】（1時間扱い）  ◆ねらい 平曲を価値あるものとして捉え、文化を継承、創造する概念を獲得すること 平曲「敦盛」を鑑賞し、自分にとっての意味をもとに当時の人々が面白いと感じた感性と自分の感性とを比較し、平曲「敦盛」を批評する。衰退する平曲の継承について考える。  ○学習内容・学習活動 ○平家滅亡の歴史の概要を知り、本時の学習課題を捉える。 ・国語科や社会科での学びを想起しながら、時代背景などを確認する。 ・鎌倉時代から約800年続いている古典芸能が今後も受け継がれていくのか、と投げかけ、本時の学習の見通しをもつ。 ○あらすじを捉えたり言葉の響きを感じ取ったりする。 ・「敦盛」のあらすじを確認しながら、詞章を音読する。 ・自分の息子と同じ年ごろの敦盛を討たなければならなかった熊谷氏や覚悟を決めた敦盛の心情を感じ取る。 ・詞章を読み、言葉の響きを味わう。 ○平曲「敦盛」を鑑賞する。 ・語りと琵琶の関係に着目して平曲「敦盛」の冒頭を聴き、感じ取ったこと（曲想）を伝え合う。 ・演奏場面を視聴し、場面変化に合わせた音楽の変化を聴き取りながら、音楽と物語との関わりを捉えながら、音楽で表現されている情景や心情を感じ取る。 ○平曲と自己との関わりについて考える。 ・鎌倉時代の多くの人々がこれを面白いと感じていたこと、平曲の継承者が減少している事実、「びかむ」が平曲の新しい魅力を作り出そうとしている姿勢など踏まえ、新しい平曲「敦盛」を生み出していることについて、意見交換しながら自分の考えをもつ。 ・本時の学習を振り返り、「平曲は受け継がれるのか」をテーマに自分の考えをまとめる。その際、自分が見いだした平曲のよさや美しさに触れるよう促す。  (学習評価) 平曲の評価（知、思・判・表） 平曲の創造的継承について考える（思・判・表）	NHK for schoolおなはしのくにクラシック「平家物語」のscene04～06の視聴を取り入れることも考えられます。	20250714 1604-nagano_minowa.pdf
59	茨城県	我が国、諸外国	教科書に載っている曲を取り上げながら	歌唱、器楽、鑑賞	心の歌 外国の曲カンツォーネなどを演奏	第2学年	3	日本の曲・外国の曲の素晴らしさを知ろう	夏の思い出 荒城の月 サンタルチア	アルトリコーダー	独唱にチャレンジ ◆日本の心の歌 世界の歌を歌おう ○独唱 独奏しよう		
60	千葉県	我が国	歌舞伎など	鑑賞	長唄や楽器の鑑賞	第2学年	2時間	我が国の楽器の音色や音楽を感じ取ろう。	勅進帳	なし	○総合芸術であることに気づかせる ・オペラとの共通点と違いについて調べる  ○起源、歴史、舞台、音楽、楽器などについて知る ・歌舞伎のDVDを見る  ○勅進帳の内容を知り、長唄などの日本音楽に触れる ・歌舞伎「勅進帳」を鑑賞する		



61	茨城県	諸外国		器楽、鑑賞		第3学年 (小学校)	7時間	日本と世界の音楽	「十五夜さんのもちつき」 「陽気なかじや」 「メロンの気持ち」	<p>【第1時】</p> <p>◆「十五夜さんのもちつき」と「キバパーキ バババ」を聴き比べ、気付いた違い出し合うことで、日本と他国の音楽の違いに触れる。そして、単元を通しての学習への関心をもつ。</p> <p>○「十五夜さんのもちつき」と「キバパーキ バババ」を聴き比べる。</p> <p>・共通点や相違点について、気付いたことを出し合う。</p> <p>○「十五夜さんのもちつき」の手合わせで遊ぶ。</p> <p>・歌詞に合わせて少しずつ練習する。</p> <p>・相手や速さを変えて楽しむ。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの特徴を感じ取り、世界の音楽への興味をもつ。</p> <p>○「十五夜さんのもちつき」の手遊びの復習をする。他に知っている手遊び歌を歌う。</p> <p>・「せんろはつづくよどこまでも」「茶つみ」で遊ぶ。</p> <p>○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの特徴を感じ取る。</p> <p>・写真から、どの国の歌かを想像して聴く。</p> <p>・共通点や相違点について、気付いたことを出し合う。</p> <p>○「陽気なかじや」を歌詞で歌う。</p> <p>【第3時】</p> <p>◆「陽気なかじや」の手合わせを通して、拍やリズムが生み出すよさや面白さを感じ取る。</p> <p>○「陽気なかじや」を手合わせして遊ぶ。</p> <p>・相手や速さを変えて楽しむ。</p> <p>○リコーダーの旋律を演奏し、歌と合わせる。</p> <p>・少しずつ区切って練習する。</p> <p>・歌とリコーダーに分かれて合わせる。</p> <p>【第4時】</p> <p>◆新しい手合わせを考える活動を通して、曲から感じ取ったことをどのように歌うか、どのような動きにするかの意図をもつ。</p> <p>○「陽気なかじや」を歌とリコーダーで演奏する。</p> <p>・前時を思い出し、歌とリコーダーにパート分けをして合わせる。</p> <p>○「陽気なかじや」の手合わせを考える。</p> <p>・「もっとあそぼう」を参考に考える。</p> <p>・新しい手合わせに合わせて、遊びながら歌う。</p> <p>○「日本や世界の子どもの歌」を聴き、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。</p> <p>【第5時】</p> <p>◆曲想とラテンのリズムの重なりに気付く。</p> <p>○「メロンの気持ち」の主旋律を歌う。</p> <p>・体を動かし、拍ののって歌う。</p> <p>○「チャチャチャ」の合いの手を歌う。</p> <p>・主旋律と合いの手が、呼びかけとこたえになっていることに気付く。</p> <p>○リコーダーで主旋律を演奏する。</p> <p>【第6時】</p> <p>◆音を合わせて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>○「メロンの気持ち」の主旋律をリコーダーで演奏する。</p> <p>○リズムパートを楽器で演奏する。</p> <p>・カウベルやギロで演奏する。</p> <p>○少しずつ合わせるパートを増やしていく。</p> <p>・担当するパートを決める。</p> <p>【第7時】</p> <p>◆音を合わせて演奏する技能を身に付ける。パートの重なりが生み出すよさを感じ取りながら、どのように歌ったり、演奏したりするかについて思いや意図を持つ。</p> <p>○「メロンの気持ち」を合奏し、旋律とリズムの関わり合いや役割に気付く。</p> <p>・前時を振り返り、全員で主旋律を斉唱したり、リコーダーで演奏したりする。</p> <p>・主旋律だけで演奏した時と、合奏したときの演奏を振り返り、気が付いたことや感じたことを交流する。</p> <p>○全員で合奏し、本単元を振り返る。</p>
62	茨城県	我が国	箏の演奏体験	器楽、創作	箏で「さくら」を演奏する 桜が咲いている様子を箏で表現する	第4学年 (小学校)	4時間	ことの音色に親しもう	さくらさくら 箏	<p>【第1時】</p> <p>○箏の音色を鑑賞する 箏の奏法に親しむ</p> <p>【第2時】</p> <p>○グループで「さくら」の練習をする</p> <p>【第3時】</p> <p>◆箏の音色に親しみ、桜が咲いている様子を演奏で表現することができる。</p> <p>○前奏を工夫したり、桜の様子を音色で表現したりして、桜が咲いている様子を箏の音色で表現する。</p>

63	茨城県	諸外国	ドイツで親しまれている曲	歌唱	グループになり、曲想を生かした表現の工夫を話し合ったあとに練習をし、お互いに聴き合う。	第4学年 (小学校)	8時間	せんりつのとくちょうを感じ取ろう	ゆかいに歩けば	木管楽器などのリズムを取り入れる。	<第1次> 【第1時】◆旋律の特徴と曲のまとまりを感じ取りながら、主な旋律を歌う。 【第2時】◆旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する。二部合唱をする。 <第2次> 【第1時】◆旋律の特徴や曲のまとまりを感じ取る。旋律の特徴を生かして演奏する。 【第2時】◆重なり合う響きを感じ取って2重奏をする。互いの表現を聴きあい、曲想にふさわしい演奏のよさを感じ取る。 <第3次> 【第1時】◆主な旋律と伴奏の特徴を聴き取り、様子を思い浮かべながら聴く。 【第2時】◆旋律の特徴や音色などが生み出す曲や演奏のよさを味わって聴く。 <第4次> 【第1時】◆歌詞の表す情景を想像を想像しながら歌い、旋律の特徴に気付く。 【第2時】◆歌詞の内容や旋律の特徴を生かして歌う。 ○学習内容・活動 グループになり、曲想を生かした表現の工夫を話し合ったあとに練習をし、お互いに聴き合う。	楽しく歌えるような環境づくりに努める。	
64	千葉県	郷土	地域につたわる「三匹獅子舞」という踊りの節の旋律を鍵盤で弾き、地域につたわる音楽の特徴やよさに親しむ。	歌唱	こきりこを歌う。	第4学年 (小学校)	2時間	地域につたわる音楽に親しもう	「三匹獅子舞」	篠笛	【第1時】 ◆日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、民謡を聴いたり表現したりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。 ○こきりこの演奏を聴いて、気付いたこと感じたことをまとめる。 ・こきりこの演奏を聴いて、普段聴いている音楽と比べてどのような違いがあるのか考えを交流する。 【第2時】 ◆日本らしい旋律を感じ取って、歌やリコーダーで表現する。 ○日本らしい旋律はどのような音が使われているのかたしかめ、こきりこの歌の部分を取ってみる。 ・日本らしい音階（今回は民謡音階を紹介）を確認し、ハ長調とどのような違いがあるか考えを交流する。そのあと実際にこきりこの歌の部分で歌う。		
65	埼玉県	郷土	地域に伝わる音楽	鑑賞	民謡など地域に伝わる音楽やその踊りについて	第4学年 (小学校)	4時間	ちいきにつたわる、おどりやまいの音楽を調べよう	こきりこ	6年で箏			
66	茨城県	我が国	日本の民謡を教材とした実践	歌唱、鑑賞	鑑賞と表現(歌唱)を関連させた実践	第7学年	2時間	日本の民謡の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	日本の民謡「ソーラン節」その他	上記の題材とは関係なく、和楽器を扱った授業は下記の通り実践している。 7年で箏を用いて「さくらさくら」の演奏を行う。8年では、押し手や合わせ爪などの技法も取り入れ、9年では前奏部分を創作して演奏をまとめる。	【第1時】 ◆音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ○人々の暮らしの中から生まれた様々な日本の民謡を聴き、それぞれの曲の特質や雰囲気を感じる。 【第2時】 ◆声の特徴や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 ○「ソーラン節」を聴き、合唱とは異なる声の出し方を理解し、ふさわしい声の出し方を工夫して表現する。	特になし	
										和楽器に親しみ、平調子での箏曲創作に挑戦しよう  対象:中学2年生  時間:2時間（50分×2）  1. 目標 ・箏の音色や平調子の特徴を理解し、伝統音楽への関心を高める。 ・平調子の音階を用いた旋律づくりを通して、創意工夫して表現する力を養う。 ・仲間と協力して創作・演奏することで、聴き合い・高め合う態度を育てる。  2. 使用教材・準備 ・箏（学校備品、箏曲用アプリ） ・平調子の音名カード（ツ・レ・ロ・ツ・レ・ロ・イ・ヒ） ・ワークシート（旋律作り用五線紙／箏用数字譜） ・教師用：範例フレーズ、鑑賞用音源（「さくらさくら」など）  3. 学習過程  【第1時】（50分）			

67	京都府	我が国、 郷土	器楽で箏、 地域の盆踊りなど	器楽、創作	箏で器楽と創作 を行っています。	器楽は 全学 年、創 作は第2 学年	1セット 2時間	和楽器に親し み、平調子で の箏曲創作に 挑戦しよう	さくらさく ら、六段の 調、その他	箏	<p>導入（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・箏の音色を聴き、感じたことを発表する。</li><li>・「さくらさくら」など平調子の曲を聴き、音階の特徴を確認する。</li><li>・今日のめあて：「平調子の音を使って、自分たちのメロディをつくろう」</li></ul> <p>展開（30分）</p> <p>1.平調子の確認（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・音階（ツ・レ・ロ・ツ・レ・ロ・イ・ヒ）を実際に鳴らす。</li><li>・五線譜と数字譜で対応を確認。</li></ul> <p>2.旋律づくり（個人作業10分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ワークシートに2～4小節の短いフレーズを作曲。</li><li>・リズムは工夫すること（四分音符中心だが八分音符も用いることを推奨）。</li></ul> <p>3.旋律づくり（グループ作業15分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループで各自のフレーズを組み合わせて、1曲にまとめる（8小節程度）。</li><li>・始まりと終わりを工夫することを意識。</li></ul> <p>まとめ（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループで試しに演奏してみる。</li><li>・「日本らしい雰囲気が出せたか」「響きの工夫があったか」などをふり返る。</li></ul> <p>【第2時】（50分）</p> <p>導入（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前時の復習。各グループの旋律を思い出し、演奏の準備。</li><li>・今日のめあて：「みんなの前で演奏し合い、よさを見つけ合おう」</li></ul> <p>展開（35分）</p> <p>1.練習（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各グループで曲を完成させ、演奏の工夫（速度、強弱、繰り返しなど）を加える。</li></ul> <p>2.発表（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グループごとに発表。</li><li>・聴く側は「曲の雰囲気」「表現の工夫」についてワークシートに記録。</li></ul> <p>3.講評（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教師と生徒で感想交流。</li></ul> <p>まとめ（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全体でふり返り。</li><li>・「平調子で作った曲にどんな特徴が表れたか」</li><li>・「日本の伝統音楽に親しむことのよさ」について発表し合う。</li></ul> <p>4. 評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・和楽器に親しみ、創作活動に主体的に取り組もうとしている。</li><li>・平調子を生かした旋律を工夫し、仲間と協力して演奏できる。</li><li>・他の演奏を聴き、よさや工夫を見つけて感想を述べられる。</li></ul> <p>5. ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平調子の音並び（数字譜と五線譜）</li><li>・自作フレーズ記入欄（2～4小節）</li><li>・グループ曲構成欄（前半／後半）</li><li>・発表を聴いての感想欄（よさ・工夫）</li></ul>		
68	広島県	我が国	雅楽や和楽器	歌唱、器 楽、鑑賞	唱歌・楽器演奏	全学年	2～3 時間	雅楽唱歌、鑑 賞、三味線実 習、箏鑑賞実 習、民謡謡い 方鑑賞歴史背 景など	越天楽、三味 線はギターと 合わせたり 様々な曲を使 用。箏は六段 初段、こちら もカントリー ロードなど	三味線、箏			
69	千葉県	我が国、 郷土、諸 外国	歌舞伎の長 唄を実際に 唄い、声の 出し方や言 葉の繋がり について考 えた。 日本の各地 の民謡につ いて調べ、 小学生の時 に踊ったこ とのある ソーラン節 をうたっ た。 諸外国の民 族音楽につ いては鑑賞 した。	歌唱、器 楽、鑑賞		全学年	2時間		歌舞伎「勘進 帳」能「敦 盛」 ソーラン節	箏			

70	広島県	我が国、郷土	その楽器を生み出した風土、文化や歴史などについて学習し、器楽表現を創意工夫した。	器楽	福山箏	全学年	3時間	地元の楽器に触れ、箏の音色を知ろう	虫づくし、さくらさくら、六段の調		第1時では、「さくら変奏曲」を聴き、箏の音色や平調子による旋律の特徴を感じるとともに、箏の独特な奏法による音色の変化を感じ、箏の基礎的な奏法について触れる。さらに、箏の演奏方法を知り、実際に演奏する。		
71	埼玉県	我が国	箏曲（器楽）	器楽		全学年	4時間	楽器の音色に親しみ、様々な奏法を理解して演奏しよう	さくらさくらうさぎ さくらさくら二重奏	様々な奏法の変化を取り入れる			
72	栃木県	郷土	郷土の作曲家による郷土をテーマにした作曲についての講話	創作	郷土の風景を曲にする	全学年	1時間	（総合の時間との抱き合わせのため講話扱い）	（校歌）	特に楽器使用なし	特になし。（講師にお任せの内容）	（この調査の対象にそぐわない内容でしたら申し訳ありません。）	
73	広島県	我が国	和楽器	歌唱、器楽、鑑賞	実習後鑑賞 鑑賞後謡や長唄、雅楽実習	全学年	2～3時間	三味線実習、箏実習、三味線と箏の合奏、三味線とギターの合奏	三味線はカントリーロード、箏は六段の初段、合奏はカントリーロード	三味線	①楽器扱い所作など基本をおさえ、まねることから学ぶ。 気が付くことで協働学習をしている。	特になし	
74	長崎県	我が国		器楽、鑑賞		全学年	1年:4 2年:3 3年:3	日本の伝統音楽	さくら	1:基本編・鑑賞 2:応用編 3:創作編（さくら前奏の創作）	例:自分のイメージに合った「さくら」の前奏を創作して演奏しよう。		
75	静岡県	我が国	雅楽、歌舞伎、三味線	器楽、鑑賞	三味線	全学年	2～3時間	楽器の音色をよく聴きながら特徴を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しよう（三味線）	「さくら」「富士の山」「こきりこ」「喜びの歌」他	三味線 1年：三味線の歴史と楽器の特徴を知る。勘所を押さえて旋律を奏でる。 2年：自分の技能に合わせて曲を選び、1人で演奏する。 3年：演奏を録画しより良い姿勢と音色を追求する。	1年生三味線 【第1時】 ◆三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、三味線の音色や響きと楽器の構造や奏法との関りについて知る。 ○三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。 ・長唄、文楽、義太夫を聴き比べる。 ・三味線を扱ったエンターテインメントを紹介する。 【第2時、第3時】 ◆三味線の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、三味線の音色や奏法への関心をもつ。 ○楽器の音色をよく聴きながら特徴を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 ・勘所を押さえて音階を演奏し、楽曲の演奏に挑戦する。 ・「さくら」「富士の山」「喜びの歌」などから自分の技能に合わせて選曲し、練習する。 ・タブレットに録画して自分の演奏を振り返り、より良い奏法を身に付ける。	三味線は期間限定で和楽器のレンタル会社から借りている（3週間、全校生徒で一人あたり500円程度）	
76	静岡県	我が国	奈良時代に中国から伝来した箏に親しむ。	器楽、創作、鑑賞	箏の演奏を鑑賞したり、自分たちで旋律を演奏、前奏を創作する。	全学年	3時間	箏の音色に親しみ、日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう	さくらさくら	箏	【第1時】 ◆箏の音色に親しもう ○箏の楽器の特徴を知り、基本的な奏法について理解する。 【第2時】 ◆「さくらさくら」を弾いてみよう ○押し手の奏法を理解し、唱歌を歌ったり、グループで旋律の練習をする。 【第3時】 ◆日本の音階を使って、「さくらさくら」の前奏を創作しよう。 ○グループでイメージした曲にふさわしい前奏を創作する。	ゲストティーチャーを呼ぶときもあります。	
77	東京都	我が国	各学年で、和楽器を使った演奏発表（後述）	器楽、創作、鑑賞	器楽の奏法習得前に鑑賞をしたり、器楽表現の中でリズムやメロディの創作を取り入れている。	全学年	6～8時間	中1 箏の音色や響きを味わいながら演奏しよう 中2 三味線の音色を味わいながら演奏しよう 中3 和太鼓の響きをいかした表現を工夫しよう	中1 箏：「さくら」の演奏→「六段の調」鑑賞→平調子の旋律創作→発表会で発表 中2 三味線：歌舞伎「勘進帳」の鑑賞→三味線の演奏「基本練習」「寄せの合方」	中1：箏 平調子の旋律創作 中3：和太鼓のリズム創作	中1 箏 【第1時】 ◆箏の音色を感じよう ・「さくら」の演奏 【第2時】 ◆箏の演奏表現や基本知識を理解しよう ・「六段の調」鑑賞 【第3～4時】 ◆さくらの変奏曲を創ろう ・平調子の旋律創作 【第5～8時】 ◆グループ別に日本の童謡や唱歌の演奏と、全員で合奏・発表会で箏の演奏 中2 三味線 【第1時】 ◆伝統芸能での三味線の理解 ・歌舞伎「勘進帳」の鑑賞 【第2～6時】 ◆日本の楽器を演奏しよう 三味線の演奏「基本練習」「寄せの合方」	本校は各学年15人弱の単級です。毎年10月末の発表会で各学年で和楽器の演奏をすることが伝統となっています。	

									中3　和太鼓：ぶちあわせ太鼓の練習と発表会での演奏表現		中3　和太鼓 【第1時】 ◆和太鼓の基本や構えを身に付けよう 【第2時】 ◆ぶちあわせ太鼓の＜本打ち＞を練習しよう 【第3時】 ◆ぶちあわせ太鼓の＜回転＞の楽しさを感じよう 【第4時】 ◆＜乱れ＞のリズムを創ろう 【第5～6時】 ◆通して演奏し、発表に向けて表現を工夫しよう		
78	茨城県	我が国、郷土	お囃子の授業	器楽、創作、鑑賞	箏	全学年	3時間	箏の基本的な奏法を習得し、演奏しよう	さくらさくら 荒城の月	箏でさくらさくらの前奏をつくろう			
79	茨城県	我が国、諸外国	1年生では鑑賞で「世界の民族音楽」を実施している。2年生では日本の音楽に触れるということで歌舞伎の鑑賞と三味線の演奏、3年生では能を鑑賞している。	器楽、鑑賞	1年生では鑑賞で「世界の民族音楽」を実施している。2年生では日本の音楽に触れるということで歌舞伎の鑑賞と三味線の演奏、3年生では能を鑑賞している。	全学年	題材によって異なる	「世界の民族音楽に触れよう」「日本の音楽を味わおう～三味線を弾いてみよう～」「日本の音楽を味わおう～歌舞伎の世界に触れよう～」「日本の音楽を味わおう～能の世界に触れよう～」	民族音楽の鑑賞では主にアジアの音楽を中東から徐々に日本に近づくようにして鑑賞している。三味線は「さくらさくら」歌舞伎は「勅進帳」能は「敦盛」	三味線。2年時で使用。	8年1組音楽科指導案  指導者　三井健嗣 題材名　日本の音楽を味わおう　～三味線を弾いてみよう～ ねらい　○日本の楽器に触れ、その良さを味わう。 ○三味線とギターの違いを理解し、その特徴を生かして演奏する。 題材感　中学校3年間の中で日本の音楽や楽器に触れさせるということで、本校では三味線の台数が揃っているため、8年生（2年生）で体験させるようにしている。 7年生（1年生）の時にギターに触れているため、例年、思ったほど違和感なく取り組めているようである。教材として日本古謡「さくらさくら」を取り上げているが、勘所も易しいので、ほとんどの生徒が弾けるようになって満足感を得られている。 指導計画および学習活動（4時間扱い） 第1次：三味線の基礎を学ぶ（構造・奏法など） 第2次：「さくらさくら」を弾く。 ○歌ってみる ○グループ毎に練習する 第3次：「さくらさくら」の練習をする。 第4次：ミニ発表会をしてお互いに評価し合う。	特になし	
80	宮城県	我が国	和楽器（箏）	器楽、創作、鑑賞	箏の奏法、箏曲の鑑賞、箏を用いた創作、歌舞伎の鑑賞	全学年	6	箏の音色や奏法を生かして表現しよう	さくらさくら	箏	【第1時】 ◆日本の伝統的な楽器である箏の歴史や楽器の構造などについて知る。 ○箏の歴史について学習し、楽器の各部の名称や爪を用いて演奏する方法について学習する。 【第2時】 ◆箏の音色の特徴を感じ取って鑑賞する。 ○箏曲「六段の調」を鑑賞し、箏の音色による曲の雰囲気やその変化を感じ取る。 【第3、4時】 ◆箏の基本的な奏法を身に付け、「さくらさくら」を演奏する。 ○押し手、合わせ爪などの奏法について学習し、箏の演奏の技能を身に付ける。 【第5、6時】 ◆箏の音色の特徴を生かして創作しよう ○「さくらさくら」の前奏を創作し、表現を工夫して演奏する。		
81	千葉県	我が国	箏	創作	沖縄音階を用いた旋律作り	全学年で可能	3時間						
82	宮城県	我が国	お琴の授業に取り組んでいる	器楽	琴	第1、2学年	4時間扱い		さくら、荒城の月	クラシックギター、リコーダー			
83	栃木県	我が国	自校に箏が十面あるので、箏を用いた授業を行っています。	器楽、鑑賞	「六段の調」などの鑑賞を行い、様々な奏法や音色を味わいながら、箏の演奏を行っています。	第1、2学年	2時間	楽器の奏法や特徴を理解し、箏の音色を味わいながら演奏しよう。	「さくらさくら」「六段の調」「マイフェイバリットシングス」	1・2年生で箏、3年生でギターを演奏します。箏は調弦を体験したり、少人数グループで練習したりすることで、箏の扱いに慣れ、より親しみをもって演奏できるようにしています。	【第1時】 ◆箏の構造や奏法による音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。 ○箏の各部の名称や奏法などを理解し、箏の音色に注目して演奏することができる。 ・箏の各部の名称、調弦法や琴柱の付け方などについて確認する。 その後調弦を実際に行い、「さくらさくら」をグループで交代しながら演奏する。巡回指導を行い、よりよい音を目指しながら練習を行う。 【第2時】 ◆箏の構造や奏法による音色の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むとともに、我が国の伝統音楽に親しむ。 ○箏の実際の演奏を聴いて、奏法による音色の違いに関心を持ち、演奏に生かすことができる。 ・箏の演奏を聴き、奏法や音色について意見交換する。鑑賞で気づいたことや学んだことを生かしながら、「さくらさくら」をグループで交代しながら演奏する。巡回指導を行い、よりよい音を目指しながら練習を行う。	特にありません。	
84	静岡県	諸外国		鑑賞		第1、2学年	2	アジアと諸民族、世界の楽器	楽器によって異なる。 楽器が生まれた国の民謡などを用いた。				

85	茨城県	郷土	地域に根付いている祭りの音楽、お囃子。	器楽	地域の指導者を招いて、和太鼓の奏法の学習をした。	第1、2学年	2時間	和太鼓の音色の響きやよさを味わって演奏しよう。	笠貫踊り	和太鼓・箏	<p>【第1時】</p> <p>◆日本の伝統音楽を鑑賞し、日本の音楽の特徴を味わう。</p> <p>○日本各地に根づく伝統音楽について学習し、伝統音楽とはどのようなものなのか考える。</p> <p>・鑑賞する。・自分たちの地域の伝統音楽について考える。・伝統音楽とはどのようなものか考える。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆地域のお祭りで演奏される楽器を体験し、和楽器の音色やよさを味わう。</p> <p>○和太鼓の基本的な奏法を身につけて演奏することができる。</p> <p>・笠貫踊りの演奏動画を鑑賞する。・笠貫踊りのリズムを練習する。・合奏する。</p>	特になし	
86	静岡県	我が国	箏の基礎的な演奏方法など	器楽	箏の歴史や奏法	第1、2学年	2時間	箏の音色に触れよう		箏	<p>第1時</p> <p>・地域の方をゲストティーチャーとして招いて箏についての基礎的なことを教えてもらい、また、奏法についても指導していただいた。</p> <p>第2時</p> <p>・生徒がさくらさくらを弾けるように教師とゲストティーチャーで指導し、最後にゲストティーチャーに模範演奏をしていただいた。</p>		
87	静岡県	我が国、諸外国	1年生で各地の民謡をやり、2年生で世界の諸民族の音楽をやります。	鑑賞	1年生の民謡は、音源のみの鑑賞。2年生の世界の民族音楽は、映像付の音楽を鑑賞します。	第1、2学年	それぞれ1時間	<p>1年生は、日本の民謡のよさや美しさを味わおう。</p> <p>2年生は、世界のさまざまな声の音楽を味わおう。</p>	<p>1年生は、ちやっきり節、ソーラン節、斎太郎節、黒田節、八木節、五木の子守唄</p> <p>2年生は、ホーミー（モンゴル）十五夜、ヨーデル（南アルプス）スイスの娘（インドネシア・バリ島）ケチャ、（スペイン）カンテフラメンコ</p>	<p>箏を使用して、4小節程度のメロディーを創作する。</p> <p>3年間の中で、和楽器に1度は触れるようにする。</p> <p>創作は、3年間の中で1度は経験するようにする。</p>	<p>【第1時】</p> <p>◆声の音色や旋律の特徴などに気をつけながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴こう。</p> <p>○いくつかの国の民族音楽を鑑賞し、それぞれ聴いた感想を記入する。</p> <p>なぜそう思ったのか、音楽のどのようなところからそう感じたのかをわかるように書く。</p> <p>・それぞれの音楽について、国の特徴や音楽の特徴、歌い方などを先に説明し、映像を見ながら音楽を鑑賞する。見終わったあと感想を記入する。その後、小グループで意見交換をして考えを深める。</p>		
88	熊本県	我が国		器楽、創作、鑑賞		第1、2学年	3時間	<p>歌舞伎に親しみその音楽を味わおう。（鑑賞）・箏の音色を味わおう（器楽・創作）</p>	<p>歌舞「伎勸進帳」・「さくらさくら」箏曲「六段の調」など</p>	<p>箏を使って作曲</p> <p>タブレットを利用</p> <p>など</p>	<p>1 課題をつかむ。▼①箏曲「さくらさくら」の演奏を聴き、音色を変化させる技法があることを知る。▼◇音が（音色・音程）が変化している。▼◇弦の弾き方を変えたらできるのでは。</p> <p>【めあて】 箏の音色の変化を想像しながら、技法を探ろう。</p> <p>②どのような表現の工夫があるか考える。▼◇箏には音を変化させる方法がある。</p> <p>【学習課題】▼箏で音の変化を表現するにはどのような工夫ができるだろう。</p> <p>2 課題の解決に向けて活動する。▼①音程が上下して変化している場合、どのような技法を使って変化させているかを考え、試しながら表現する。▼◇弦に力を加えてみるとどうなるだろう。▼◇弦を押すと音程が上がるが下げる場合にはどうすれば良いだろう。▼◇他にも工夫できるか。</p> <p>②ピブラートやスタカートはどのようにするのだろう。▼◇自分なりに工夫してみよう。▼◇他の人はどんな工夫をしているだろう。▼③技の名前を想像してつけ発表する。▼◇名称を工夫している。▼◇技法の名称と、正しい奏法をしる。▼ 押し手,後押し,突き色,引き色,揺り色</p> <p>【期待される学びの姿】▼音程や音色の変化を的確にとらえ、いろいろな技法を試しながら、表現している。</p> <p>3 学習課題に対する表現方法をまとめ、めあてに対する振り返りをする。▼</p> <p>【まとめ】音程の上下、音長の調整に関わる技法など、自分なりにいろいろな工夫をすることで、演奏に変化を加えることができる。▼◇自己評価と振り返りを記入する。</p>		
89	熊本県	我が国		器楽、創作、鑑賞		第1、2学年	3時間	<p>歌舞伎に親しみその音楽を味わおう。（鑑賞）・箏の音色を味わおう（器楽・創作）</p>	<p>歌舞「伎勸進帳」・「さくらさくら」箏曲「六段の調」など</p>	<p>箏を使って作曲</p> <p>タブレットを利用</p> <p>など</p>	<p>1 課題をつかむ。▼①箏曲「さくらさくら」の演奏を聴き、音色を変化させる技法があることを知る。▼◇音が（音色・音程）が変化している。▼◇弦の弾き方を変えたらできるのでは。</p> <p>【めあて】 箏の音色の変化を想像しながら、技法を探ろう。</p> <p>②どのような表現の工夫があるか考える。▼◇箏には音を変化させる方法がある。</p> <p>【学習課題】▼箏で音の変化を表現するにはどのような工夫ができるだろう。</p> <p>2 課題の解決に向けて活動する。▼①音程が上下して変化している場合、どのような技法を使って変化させているかを考え、試しながら表現する。▼◇弦に力を加えてみるとどうなるだろう。▼◇弦を押すと音程が上がるが下げる場合にはどうすれば良いだろう。▼◇他にも工夫できるか。</p> <p>②ピブラートやスタカートはどのようにするのだろう。▼◇自分なりに工夫してみよう。▼◇他の人はどんな工夫をしているだろう。▼③技の名前を想像してつけ発表する。▼◇名称を工夫している。▼◇技法の名称と、正しい奏法をしる。▼ 押し手,後押し,突き色,引き色,揺り色</p> <p>【期待される学びの姿】▼音程や音色の変化を的確にとらえ、いろいろな技法を試しながら、表現している。</p>		

											3 学習課題に対する表現方法をまとめ、めあてに対する振り返りをする。▼ 【まとめ】音程の上下、音長の調整に関わる技法など、自分なりにいろいろな工夫をするこ とで、演奏に変化を加えることができる。 ▼◇自己評価と振り返りを記入する。		
90	栃木県	我が国	箏の実技授業 平調子を使った創作	器楽、創作、鑑賞		第1、2 学年	1年生 3時間、 2年生 2時間	1 年 箏の基本的な奏法 2 年 平調子の特徴を生かして	さくらさくら六段の調べ	楽器 リコーダー 鍵盤 箏 など 方法 教科書に従って			
91	栃木県	我が国	箏と尺八は実物を見せて体感させる。DVDを視聴。	歌唱、鑑賞	外国語の曲を歌唱する。（3年、教科書に記載曲）民謡を鑑賞（1年、教科書記載）	第1学年、第3 学年	2時間	カンツォーネを歌おう。	「六段の調」 「鹿の遠音」 「ソーラン節」 「こきりこ」 「刈干切唄」 「八木節」 「谷茶目」 「五木の子守唄」 「長持ち歌」 「ホーミー」 「天台声明」 「ケチャ」 「帰れソレントへ」 「Top of the world」	学習者用端末、箏			
92	茨城県	我が国、郷土	教科書で紹介されているものを使用している。	歌唱、器楽、鑑賞	ソーラン節の民謡を行っている。 能「敦盛」 箏の演奏「さくらさくら」	第1学年・第3 学年	歌唱2時間 扱い 器楽、創作 3時間	声や音楽の特徴を生かして謡いを歌おう 我が国の伝統音楽に触れよう	ソーラン節 敦盛 さくらさくら	箏の実践授業を行っている。	単元名: 我が国の伝統音楽に触れよう ～箏で奏でる「さくらさくら」～ 3時間（演奏2時間、創作1時間） ねらい: 箏の基本的な演奏法を学び、「さくらさくら」を実際に演奏することで、日本の伝統楽器の音色や文化に親しむ。また、簡単な創作活動を通して、音楽を主体的に作り出す楽しさを体験する。  【第1・2時：箏の演奏「さくらさくら」】 ◆箏の構造や基本的な奏法（爪の付け方、音の出し方）を理解し、実際に音を出すことができる。 ◆「さくらさくら」の旋律を箏で演奏し、曲の雰囲気や表現の仕方を学ぶ。 ○映像資料などを活用し、箏の歴史や構造（弦、柱、爪など）について解説し、日本の伝統音楽の特色について話し合う。 ○箏の構え方と爪の付け方: 実際に爪を指につけ、箏の前に座る姿勢を身につける。 ○メロディの練習: 「さくらさくら」の楽譜（五線譜や数字譜）を見ながら、フレーズごとに区切って練習し、メロディの難しい部分を重点的に繰り返し練習する。 ○表現の工夫: 強く弾く部分、弱く弾く部分など、曲の雰囲気を意識した演奏を試みる。 ○箏を演奏した感想を共有し、日本の伝統音楽の良さについて振り返る。  【第3時：創作活動「さくらの旋律を創ろう」】 ◆「さくらさくら」のメロディや音の響きから着想を得て、自分だけの「さくら」の音楽を創作する。 ◆音楽を構成する要素（リズム、音の高さ、強弱）を意識し、主体的に音楽を創り出す楽しさを体験する。 ○「さくらさくら」をもう一度鑑賞し、この曲からどんな情景が浮かぶか話し合う。 ○「さくら」の曲を創ってみよう！と創作活動の目的を提示する。「夜桜」「散りゆく桜」「風に舞う桜」など、各自でテーマを決める。 ○A案（リズム創作）: 「さくらさくら」のメロディはそのままに、リズムを自由に変化させる。B案（メロディ創作）: 「ド、レ、ミ、ソ、ラ」の5音（ペントトニック）を使い、オリジナルのメロディを創る。C案（即興演奏）: テーマに沿って、自由に箏を弾きながら即興で音を創る。 ○グループワーク: 2～3人のグループに分かれ、それぞれが創ったメロディやリズムを組み合わせ、一つの作品に仕上げる。グループごとに創作した作品を発表する。お互いの作品の良い点や工夫した点について感想を述べ合う。日本の伝統音楽が、今もなお新しい形で発展し続けていることに気づかせる。		
93	茨城県	我が国	歌舞伎	鑑賞	「勘進帳」	第2、3 学年	2時間	歌舞伎に親しみその魅力を味わおう	歌舞伎「勘進帳」 場面ごとに5曲	1、2年生で箏を扱います	【題1時】 ○学習内容・学習活動 1 歌舞伎への関心を高める。 2 歌舞伎の成り立ちや特有の表現、音楽などについて知る。 3 歌舞伎勘進帳について知り、長唄の声の音色や旋律、囃子の音色や合わせ方、速度などの特徴を捉える。 4 振り返りをする		

94	熊本県	我が国		器楽、創作	第2学年：自作の短歌や俳句（国語の授業で作成）に日本音階で旋律をつける創作	第2学年	4時間	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	【2】の事例であれば楽曲は使いません。その他の和楽器の授業として「さくらさくら」を使います。	【2】の事例においては学習者用端末やミニキーボードを使います。その他の和楽器の事例としては1年時に「さくらさくら」をモチーフにした筆による創作を行っています。	【2】の事例 【第1・2時】 ◆日本の音階や日本語の抑揚などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせができる。 ○旋律づくりⅠ 創作を通して、民謡音階の特徴を生かすための音のつながり方について理解する。 ・音符や休符を復習し、日本の4つの音階（民謡音階、律音階、都節音階、琉球音階）についてキーボードで確認した後、言葉の抑揚と音高との関わりについて学び、民謡音階で松尾芭蕉の俳句に旋律をつくる。創作を通して、民謡音階の特徴を生かす工夫について考える。 【第3・4時】 ○旋律づくりⅡ 表したいイメージと関わらせて、創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 ・国語の授業で自作した短歌や俳句に、自分で設定した課題に沿って旋律をつくる。日本の4つの音階から表したいイメージに合った音階を選び、音階の特徴を生かせるような旋律をつくる。		
95	埼玉県	我が国		創作		第2学年	2時間	モチーフを重ねてリズムアンサンブルをしよう	なし	和太鼓等の日本の打楽器	【第1時】 ◆課題や条件に沿った音の選択をしたり組み合わせたりする技能を身に付ける。 ○リズム遊びからリズム創作に関心をもち、モチーフをつくる。 ・「フーガト短調」を使ってリズム遊びをし、反復、変化、対応についてつかみ、リズム創作に関心を持たせる。 ・モチーフを数種類提示し、個人でモチーフを1小節つくる。 ・グループに分かれて持ち寄ったモチーフを提示し合い選んだり変えたりしながらグループのモチーフを4小節つくる。反復を使うことを伝える。 ・各グループが作成したモチーフを手拍子で発表する。 【第2時】 ◆音楽材の特徴や音の重なり方、反復、変化、対応などの特徴を理解する。 ○創作したモチーフをつなげたり重ねたりしながらリズムアンサンブル曲をつくる。 ・前時に作成した各グループのモチーフをリズムアンサンブルの進行表に沿って重ねていく。 ・試奏し話し合いながら楽器を各パートの担当を決める。和楽器を使う。 ・1年生で学習した「掛け合い」を使うように伝え、進行表の続きをつくり、通して演奏できるように練習をする。 ・各グループが作成したリズムアンサンブルを楽器を使い発表する。		
96	新潟県	我が国	平調 越天楽	鑑賞		第2学年	2時間	雅楽の背景を理解して表現の特徴を聴き取ろう	平調ー越天楽ー		第1時 ◆雅楽の背景を理解して表現の特徴を聴き取ろう ○雅楽を聴き、感じ取ったことをまとめる。・雅楽「平調 越天楽」を鑑賞する。 ○雅楽の成り立ちを知る。・雅楽について用語をまとめる。 ○雅楽の特徴を捉える。・雅楽と佐渡おけさを比較する  第2時 ◆雅楽の役割を考えてみよう ○「平調 越天楽」の旋律を捉える ・「平調 越天楽」の旋律をピアノ（キーボード）で弾く ○「平調 越天楽」について考えを深める ・「平調 越天楽」が当時の役割や社会においてどのような影響をもっていたかを考える		
97	新潟県	我が国	地元在住の和太鼓奏者を招聘した授業	器楽、創作、鑑賞	和太鼓の演奏	第2学年	2時間	「和」に親しむ	夏祭り	和太鼓（長胴太鼓） 1学年は等、2学年は和太鼓を使用している	【第1時】 ◆和太鼓の音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。 ○和太鼓の特徴や奏法による音色の違いを感じ取り、仲間とリズムを合わせて演奏することの価値について吟味する。 ・地元の和太鼓奏者の生演奏を観賞する。 ・奏法を習い、音色を工夫したり「夏祭り」の主たる部分を演奏する。 ・全員で同じリズムを打つ。 ・リズムパターンを部分的に組み合わせてアンサンブルする。  【第2時】 ◆知覚・感受しながら、和太鼓の奏法による音色の違いを生かして音楽表現を工夫し、思いや意図をもって試行錯誤している。 ○和太鼓の音色や特徴を生かして思いや意図をリズムパターンの創作により表現することができる。 ・お題にかかわって、ペアまたはグループで言葉・文章・擬音などのイメージを膨らませて2～4小節程度のリズム創作をする。 ○和太鼓のリズム創作を通して、和太鼓の特長をより一層理解し、和楽器や日本の伝統文化の価値観について述べるができる。	特記なし	



98	栃木県	郷土	地域に伝わる無形民俗文化財である獅子舞の成り立ちや意味、どのように受け継がれているかについて学ぶ。	鑑賞	市が作成した獅子舞のDVDを鑑賞し、獅子舞について学び、今後どのように継承していくべきかについて考える。	第2学年	1時間	受け継ごう郷土の祭りや芸能 ～地域の芸能の良さを味わおう～	関白流 小林獅子舞	<p>(第1時)</p> <p>◆地域の獅子舞について知ることを通して、郷土に伝わる伝統芸能に愛着をもち、世代を超えて受け継いでいこうという気持ちを育てる。</p> <p>○地域の獅子舞への関心を高める。</p> <p>・毎年運動会で中学生が踊っている獅子舞体操であるが、本物の獅子舞を見たことがあるか、獅子舞体操以外で獅子舞について知っていること（使われている楽器）などを共有する。</p> <p>○地域の獅子舞の成り立ちやその意味、練習の様子、地域の方がどのようにして今日まで獅子舞を受け継いできたか、今後に継承していく上での問題点などについて知る。</p> <p>・市が作成した獅子舞のDVDを鑑賞する。</p> <p>○授業を通して分かったことや考えたこと、地域の獅子舞を継承していくためにできることなどについて考える。</p> <p>・ワークシートに記入し、グループや学級全体で共有する。</p>	生徒達は、小学3年生から中学3年生まで地域の獅子舞を引き継ぐために生み出された獅子舞体操（本物の獅子舞の簡略版）を踊っていますが、実際の獅子舞を見たり、なぜ行われているかを知ったりする機会はない状況です。	
99	広島県	郷土	地域で神楽が有名なので、神楽を用いた授業を行いました。	鑑賞	学校の地域で神楽が有名なので、神楽、歌舞伎、オペラを比較した授業を行いました。	第2学年	5時間	舞台芸術の鑑賞を通して、西洋と日本の音楽の違いを味わおう	神楽「八岐大蛇」、歌舞伎「勧進帳」、オペラ「魔笛」、「トゥーランドット」	<p>題材観</p> <p>本題材は学習指導要領の指導事項「B鑑賞」ア（ウ）「音楽表現の共通性や固有性」及びイ（イ）「音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり」について扱うものとする。</p> <p>ア：西洋の音楽</p> <p>①「トゥーランドットより 誰も寝てはならぬ」②「魔笛 より 夜の女王のアリア」③「椿姫 より 乾杯の踊り」の3曲を取り扱う。「テノール独唱」「ソプラノ独唱」「合唱」の比較が行いやすくなっている。また、場面の状況や登場人物などを表現するために、音楽の様々な要素がどのように生かされているのかを知り、曲想と音楽の構造との関わりを理解することができる。</p> <p>イ：日本の音楽</p> <p>日本の音楽は「神楽 八岐大蛇」「歌舞伎 勧進帳」を取り扱う。「勧進帳」は日本を代表する伝統的な演劇の一つである歌舞伎の上演形態や歴史について知り、歌舞伎の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解を深めることができる題材である。</p> <p>指導観</p> <p>指導に当たっては、「オペラ」に関しては、オーケストラの響きとともに、独唱、重唱、合唱などの編成や、様々な種類の声の音色について知り、それらが一体となって演奏されるオペラの興味・関心を育むことができるようにする。「歌舞伎」に関しては、歌舞伎役者たちの演技・音楽との息の合わせ方・衣装や舞台などの美術、そして観客も一緒に舞台に参加しているという臨場感を、西洋の文化にはない「間」を感じさせることで、味わわせたい。歌舞伎の中に音楽があることによって演技が生き生きとする様子やその場面の雰囲気などをどのように音で表現しているのかについても、役者のセリフの言い回しだけではなく音楽に着目させたい。同じ総合舞台芸術でも文化の違いによる相違点や共通点を「オペラ」・「歌舞伎」と2つのジャンルを比較したり、「間」の文化に触れることで気づかせたい。また、一人一人が自分なりに感じ取った楽曲のよさや特徴を他者とのやりとりにより、共感したり、再認識したりすることで、自己の感じ方をより確かなものとし、楽曲のよさや美しさを味わっていけるようにしたい。</p> <p>指導と評価の計画</p> <p>時</p> <p>学習内容評価</p> <p>重点題材の評価方法</p> <p>1 (本時) 西洋と日本の音楽の違いについて考える。</p> <p>様々なオペラの曲を鑑賞し、オペラに興味をもつ。思旋律を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>2</p> <p>アイーダのあらすじ、総合芸術について知る。</p> <p>アイーダの各場面を鑑賞する。知音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>3 歌舞伎について知る。</p> <p>知音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>4 勧進帳を鑑賞する。</p> <p>各場面を鑑賞して、声の音色や言葉の発音、歌い方の特徴、使用されている楽器やその音色の特徴などについて、知覚したこと感受したこと書く。思旋律を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている</p> <p>(ワークシート)</p> <p>5 西洋と日本の音楽の違いについて、批評分を書く。思旋律を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている</p> <p>(ワークシート)</p>		

100	熊本県	我が国、郷土	箏曲、日本の音楽の特徴	器楽、創作	器楽を用いた創作	第2学年	3 時間	「箱石銭太鼓」の前奏を創作しよう	郷土の音楽 「箱石銭太鼓」 さくらさくら	「箏」を使用しています。郷土の音楽では、リコーダーを使用しています。基本的な箏の奏法を1年生で、「箱石銭太鼓」の前奏創作を2年生で、「さくら さくら」の二重奏と郷土の音楽を組み合わせたものを3年生で取り組んでいます。	○第1時 ◆ねらい：日本の音楽の音階について理解し、その雰囲気を感じ取る○学習内容：①箏の基本的な奏法について復習する。②「さくらさくら」「箱石銭太鼓」に使われている音を調べる。③5音階を用いて、短いフレーズをつくり、発表する。④感想を述べ合い、振り返りを行う。 ○第2時 ◆ねらい：5音階を使って「箱石銭太鼓」の前奏をつくらることができる。○学習内容①「箱石銭太鼓」のリレー演奏をする。②箏を使って8拍の前奏を作る。③ペアで演奏し合い、作品をよりいいものにするため練り上げていく。④振り返りをする。 ○第3時 ◆ねらい：オリジナルの前奏で「箱石銭太鼓」を演奏する ○学習内容①自分が作った前奏を確認する。②一人一人順番に演奏をする。③それぞれにコメントを書き、よかった点やアドバイスを感想を交換し合う。	ありません			
101	千葉県	郷土		鑑賞		第2学年	1 時間	国指定重要無形民俗文化財「鬼来迎」							
102	千葉県	我が国	歌舞伎「勘進帳」	鑑賞	歌舞伎・長唄「勘進帳」	第2学年	2 時間	長唄「勘進帳」に親しみ、日本の伝統音楽のよさや美しさを味わおう	長唄「勘進帳」	【第1時】 ◆歌舞伎「勘進帳」を鑑賞し、歌舞伎の特徴について理解する。 ○歌舞伎「勘進帳」の冒頭部分を鑑賞する。 ・冒頭の笛（能管）の音色から気づいたことを発表する。 ○歌舞伎「勘進帳」について知る。 ・歌舞伎ができた時代、「勘進帳」の登場人物、あらすじを理解する。 ○長唄の雰囲気を味わい、使われている楽器を知る。 ○歌舞伎「勘進帳」を鑑賞する。 ・歌舞伎の音楽の特徴について考える。 【第2時】 ◆長唄「勘進帳」の音色や旋律の特徴を感じながら、日本の伝統音楽のよさや美しさを味わう。 ○長唄「勘進帳」の「これやこの～山かくす」のDVDを鑑賞し、長唄を体験する。 ・朗読し、次に範唱の節を模倣して唄う。 ・長唄の特徴で気づいたことを発表する。 ・「声色・発声」に着目し、声の音色の特徴を意識して唄う。 ○8グループに分かれ、指定した旋律の特徴を生かしながら唄う。 ・「唄い尻・産み字」に着目し、旋律の特徴を生かしながら唄う。 ○声の音色や旋律の特徴から醸し出される曲想について考える。 ・指定された旋律をグループごとにつなげて唄い、声の音色や旋律の特徴を生かすことでどのように感じるか、ワークシートに自分の考えを記述する。 ○ワークシートに記述した考えを発表し、共有する。 ○長唄を通して、そのよさや美しさについてワークシートにまとめ、自分の言葉で発表する。			20250904 1656- kannzinn chou.pdf		
103	静岡県	我が国		歌唱、器楽		第2学年	5 時間	歌うように表現しながら、箏で演奏しよう	「荒城の月」						
104	静岡県	我が国		鑑賞		第2学年	3 時間	歌舞伎の魅力を知ろう！	歌舞伎「勘進帳」						
105	千葉県	諸外国	11月に実施予定である。	器楽、鑑賞	市在住の方から、バグパイブに関わる講座を展開してもらう。発祥地であるスコットランドについての歴史的背景を知り、バグパイブの音色を感じ、体験も行う予定である。	第2学年	1 時間	世界の諸民族の音楽についての知識を深め、生演奏で楽器の音色を味わおう。	打ち合わせを行っていないので、わからない。	昨年度は箏の学習を行った。	打ち合わせを行っていないので、記載不可能。				
106	茨城県	我が国	第1学年 箏「六段の調」、アジアの諸民族の音楽、雅楽「越天楽」 第2学年 歌舞伎「勘進帳」、文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段” 第3学年 能「敦盛」	歌唱、鑑賞	第1学年 日本の民謡「ソーラン節」 第2学年 歌舞伎「勘進帳」（長唄） 第3学年 謡「敦盛」	第2学年	3 時間	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	勘進帳	箏 第1学年で取り扱い（3時間） 三味線 第2学年で取り扱い（1時間）	題材名 歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう。 長唄「勘進帳」 三世並木五瓶 作詞 四世杵屋六三郎 作曲  【第1時】 ◆歌舞伎「勘進帳」の主要な場面を部分的に鑑賞し、あらすじや歌舞伎の特徴（舞台や三味線音楽等）を理解する。 ○・あらすじや歌舞伎の特徴（舞台や三味線音楽等）を感じる。 【第2時】 ◆長唄にふさわしい表現を工夫する。 ○長唄の模範演奏を聴き、長唄の声や音楽の特徴を理解し、模範演奏や映像を見ながら練習し、長唄を唄う。 【第3時】 ◆声の音色や言葉の特性に関心をもち、歌舞伎の魅力について理解する。 ○歌舞伎「勘進帳」の魅力についてまとめる。	我が国に関する音楽の指導では、鑑賞だけでなくとどまらず、どの学年でも楽器や歌唱と結び付けて生徒たちの興味・関心を引き出せるように心がけている。			

107	千葉県	我が国	日本で古くから伝わる「さくらさくら」を和楽器を用いて演奏する。	器楽、鑑賞	事で「さくらさくら」を演奏し、また、講師の方の演奏を聴いて感想を記入する。	第2学年	2時間扱い	音楽を形づくっている要素を知覚し、日本の伝統音楽の多様性を感じとろう	「さくらさくら」	箏。小学校でも箏に触れ、更に、中学2年時に発展的な奏法を学習する。	【第1時】 ◆箏の音色を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりについて知るとともに、箏の音色や奏法への関心をもつ。 ○箏の音色を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じる。講師の方の模範演奏を聴き、気づいたことや感じ取ったことを共有する。また、小学校の時より発展的な奏法を教わる。 【第2時】 ◆箏の音色や響きと構造や奏法との関わりについて理解し、正しい奏法を身につけ、豊かな表現につなげる。 ○「さくらさくら」を楽譜を見ながら練習し、奏法を確認する。講師の方からアドバイスをいただきながら、正しい奏法を身につけ、より良い表現を目指す。最後に全体で「さくらさくら」を通して演奏し、伴奏も加えることで、音の重なりについても意識をさせる。	特にありません。	
108	福井県	我が国	声明、能、狂言、長唄、民謡	歌唱、鑑賞	日本の伝統音楽の中の、声明、能、狂言、長唄、民謡について、そのジャンルならではの声の音色、旋律、間など、音楽を形づくっている要素を鑑賞を通して、知覚し、特徴を理解するとともに、曲種に応じた発声、声の音色、言葉の特性を生かして歌唱表現する。	第2学年	5時間	声でひらく！ 伝統音楽のトビラ	声明、能、狂言、長唄、民謡のジャンルを扱い、『日本語を歌・唄・謡う』の中の「かえでいろうづくやまのあさは」という歌詞の歌い比べをした教材。	本題材では楽器を使用していない。三年間を通して、秋に「日本の伝統音楽」の学習をカリキュラムの中に位置づけている。第1学年では、雅楽で笙、箏、篳篥、篳篥を一人一つ担当して楽曲を演奏し発表する。第2学年では、日本の伝統音楽の声に着目して、声明、能、狂言、長唄、民謡の5つのジャンルの違いを探る。第3学年では、声に着目し、世界の民族音楽と日本の民謡や声明などの音楽の違いを探る活動を行っている。	【第1時】 ◆日本の伝統音楽の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、日本の伝統音楽への関心をもつ。  ○日本の伝統音楽の5つのジャンルの声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じる。 ・「かえでいろうづくやまのあさは」という言葉を①声明、②能、③狂言、④長唄、⑤民謡の5つの日本の伝統音楽のジャンルで表現した音源を聴き、声の特徴、歌い方などの知覚した気づきから感受したことをワークシートに記す。 ・ワークシートの内容を全体で共有し、それぞれに関する疑問を出し、個人で興味を持ったものを一つ選ぶ。 ・興味を持ったジャンルごとにグループを作り、聴き取ったことや感じ取ったことを自由に話し合う。 【第2時】 ◆興味を持ったジャンルの音源を何度も聴きとり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを図や言葉で説明して理解する。 ○興味を持ったジャンルの日本の伝統音楽の音源を何度も聴きとり、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて、気づいたことや考えたことをオリジナル楽譜にまとめる。 ・興味を持ったジャンルごとに2～6人ほどのグループになり、そのジャンルの「かえでいろうづくやまのあさは」の音源を何度も聴く。 ・曲種に応じた発声や声の音色、響きなどを知覚し、他のクラスや班に教えられるよう、知覚した内容をオリジナル楽譜にまとめる。 ○ほかのジャンルを調べている班と楽譜を比較し、自分たちの取り組んでいるジャンルの特徴を知る。 ・異なるジャンルを調べている班と、作成したオリジナル楽譜を見せ合う。 ・強弱や言葉のアクセントのつき方、間の持ち方など、違いを掴む。 【第3時】 ◆調べたジャンルの音源を真似して歌い、さらに声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。 ○自分が選んだジャンルの音楽の特徴を、声による表現をもとに捉える。 ・班ごとに作ったオリジナル楽譜をもとに、音源を真似て歌いながら、曲種に応じた発声や声の音色などの特徴をさらに掴んでいく。 ・ほかのジャンルに取り組んでいる班と、師匠、弟子の役目に分かれて、オリジナル楽譜や口伝で、相手に自分の取り組んだジャンルについて伝える。 【第4時】 ◆曲種が生まれた背景との関連から捉え、ほかのジャンルと比較をすることで、日本の伝統音楽に対する見方・感じ方を深める。 ○日本の伝統音楽の生まれた背景と、発声や声の音色との関わりについて考える。 ・班ごとに、声の出し方の姿勢に関する動画や、そのジャンルの背景に関わる動画、資料などを確認し、どうしてその声の発声の仕方をしているのかに目を向け、背景の理解を深める。 ・3つの異なるジャンルを調べているグループで集まり、師匠役と弟子役に分かれて、学びを伝え合う。 ○背景の違いを確認する。 ・「いつ」「どこで」「だれが」「どのように」という視点でそれぞれのジャンルの音楽を調べ、調べたことを全体で共有し、ほかのジャンルと比較する。 【第5時】 ◆調べたジャンルの中での声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりについて、相違点や共通点を探る中で、日本の伝統音楽に対する見方・感じ方を深める。 ○ほかのクラスと学びを交流し、曲種に応じた発声や声の音色などの特徴に関する理解を深め、学習を振り返る。 ・同じジャンルを探究してきたほかのクラスの班とグループになり、師匠と弟子の役目に分かれて学びを伝え合う。同じジャンルでも異なる歌い方があることで、探究してきたジャンルそのものの多様性や広がりを感じ、特徴を掴んでいく。 ・クラス全体で、それぞれのジャンルについての学びを共有し、日本の伝統音楽の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりや、日本の伝統音楽の背景について、学習してきたことを振り返り、まとめる。	なし	
109	新潟県	我が国	箏の基本的な奏法やいろいろな奏法を生かし、旋律創作を行う。	器楽、創作	1・2年生で学んだ箏の基本的な奏法やいろいろな奏法を生かし、旋律創作を行う。	第3学年	3時間	日本の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう。	さくらさくら六段の調	箏、ギター	①箏の歴史を知り、基本的な奏法を習得する。 ②基本的な奏法の外に、いろいろな奏法を学ぶ。 ③基本的な奏法やいろいろな奏法を生かし、箏曲を演奏する。		

110	京都府	我が国	尺八	鑑賞	尺八楽「巢鶴鈴慕」の鑑賞	第3学年	2時間	日本に古くから伝わる尺八のよさを味わおう	「巢鶴鈴慕」	箏：「さくらさくら」などの難易度の低い曲を取り扱っている。	<p>【第1校時】</p> <p>◆日本の伝統楽器である尺八について理解を深めるとともに、楽曲の特徴を理解する。</p> <p>○尺八の音域、各部の名称、奏法についてDVDを視聴する。</p> <p>「巢鶴鈴慕」：形式、曲の情景について理解する。</p> <p>【第2校時】</p> <p>◆楽曲の情景について、奏法との関わりを感じ取る。</p> <p>○初段の情景をイメージして、ワークシートに記入する。</p> <p>&lt;雛のもとに飛来する雄&gt;&lt;雄のはばたきの求愛ダンス&gt;&lt;雛雄の鳴き声の掛け合い&gt;</p> <p>例：～（コロコロ）の部分は、雄が求愛するために羽を動かしている。</p> <p>○ワークシートの内容をクラス全体で共有する。</p>		
111	京都府	我が国、諸外国		鑑賞		第3学年	2時間	日本の民謡の特徴を捉え、世界の諸民族の音楽と比較する。	「南部牛追い唄」「伊勢音頭」「カッワーリ」「オルティンドー」		<p>【第1時】</p> <p>◆日本民謡を復習し、特徴を捉える。</p> <p>○日本の民謡の生まれた背景を知る。拍節感を感じ取る。それぞれの音階の違いを感じ取る。形式や楽器の響きの違いを感じ取る。</p> <p>・「南部牛追い唄」「伊勢音頭」「木曾節」「ソーラン節」「谷茶前」の生まれた背景を調べる。拍節がある唄、ない唄に分類する。それぞれの音階を弾いてみて雰囲気进行交流する。使われている楽器の特徴を知り、響きの違いを感じ取る。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆世界の諸民族の音楽を聴き、その特徴を日本の民謡と比較し、共通性と固有性を理解する。</p> <p>○世界の諸民族の音楽を聴き、生まれた背景、拍節、形式、音階、楽器を知り、日本の民謡と比較する。</p> <p>・「カッワーリ」「オルティンドー」「グリオ」「ブルガリアの女声合唱」を聴き、生まれた背景、拍節感、形式、音階（曲の雰囲気）、使われる楽器などについて、日本の民謡と共通するところと違うところ（その音楽の固有性）についてグループでまとめる。全体で交流する。</p> <p>比較してみて気づいたこと、感じたことなどをまとめる。</p>		
112	埼玉県	諸外国		歌唱		第3学年	2時間	イタリアの情景を思い浮かべながらカンツォーネを歌おう	「帰れソレントへ」		<p>【第1時】</p> <p>◆曲を聴いて大まかな雰囲気や旋律の美しさを感じる。イタリアのソレントという場所や、歌詞に込められた想いを理解する。</p> <p>○楽曲を鑑賞し、生徒に曲の印象を発表してもらう。（明るい、寂しい、切ないなど）</p> <p>歌詞の和訳を配布し、内容を読み解く。特に「帰れ」という言葉に込められた感情について話し合う。イタリア語の発音について、教師が範唱しながら指導する。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆旋律の動きやフレーズのみとまりを理解し正確に歌う。強弱記号や速度記号の意味を捉える。</p> <p>○旋律の山や谷（音の高低）を捉える。フレーズごとに区切り息継ぎの場所を確認する。</p> <p>楽譜に書かれた強弱記号（p,fなど）を確認する。教師のピアノ伴奏に合わせて複数回通して歌う。</p>		
113	新潟県	我が国		歌唱、鑑賞	能楽の鑑賞や能管の演奏鑑賞、謡の体験、能管の唱歌	第3学年	2時間	謡や能管の演奏・鑑賞を通して、能楽の特徴やよさを知り、身近に感じよう	「敦盛」		<p>【第2時】</p> <p>◆謡・能管の唱歌の実践・能管演奏鑑賞を通して、能楽「敦盛」の音楽の特徴やよさを体感し、日本の伝統芸能のよさを味わう。</p> <p>○能楽「敦盛」を改めて視聴し、本時のねらいを理解する。</p> <p>・どのようにすれば謡らしくなるかを考えながら、各自タブレットで繰り返し聴く。</p> <p>○謡の特徴を聴き、気づいたことを発表し合い、要素（音色、リズム、旋律など）毎にまとめる。</p> <p>・講師から補足を聞き、工夫する点に気をつけ、皆で唄う。</p> <p>・謡の用語について知る、（「コミ」「産み字」など）</p> <p>○四拍子（しびょうし）のうち、能管にクローズアップして体験する。</p> <p>・能管の唱歌譜を見て皆で唄い、ある程度リズムが取れるようにした後、講師の能管演奏と共に唄う。</p> <p>○音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、その特徴や雰囲気を学級全体で共有する。</p>		
114	青森県	我が国	我が国の伝統音楽のよさや美しさを味わい、音楽表現の共通性や固有性について考える。	鑑賞	尺八の様々な奏法による音色の変化を感じ取らせながら、尺八固有の音色に親しみ、尺八楽の魅力を味わわせる。	第3学年	2時間	「日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」	尺八楽 巢鶴鈴慕		<p>【第1時】</p> <p>◆尺八の音色や様々な奏法による音色の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、その関わりについて考える。</p> <p>○奏法による音色の変化に着目して、「巢鶴鈴慕」初段の音楽表現について考える。</p> <p>・「巢鶴鈴慕」の「初段」を聴き、楽曲から知覚した音型を図形や擬音で表現する。</p> <p>○尺八の音色や、様々な奏法による音色の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、その関わりについて考える。</p> <p>・「巢鶴鈴慕」で使用される尺八の様々な奏法について確認し、リコーダーで模倣しながら、尺八固有の音色や音色の変化について気づいたことを共有する。</p> <p>・尺八の基本となる奏法や音・音域について知る。</p> <p>【第2時】</p> <p>◆「巢鶴鈴慕」の他の段を聴いて音色や旋律と表現されている情景との関わりを知覚し、尺八楽の特質や雰囲気を感じながら、我が国の伝統音楽の共通性や固有性について考え、そのよさや美しさを味わって鑑賞する。</p> <p>○前時に学習した内容を踏まえて「巢鶴鈴慕」を鑑賞する。</p>		

											・尺八の音色や様々な奏法による音色の変化、旋律と表現されている情景との関わりについて気づいたことをワークシートに記入する。 ・日本の伝統音楽の共通性や固有性、その美しさなどについて、自分の考えを記入し、他者と共有しながら尺八楽や日本の伝統音楽の魅力について考えを深める。		
115	石川県	我が国		器楽		第3学年	2時間	箏の音色に親しもう	「さくらさくら」				
116	千葉県	我が国	お囃子盛んなので篠笛をやっています。	器楽	篠笛練習	第3学年	2時間	篠笛の練習	さくらさくら	篠笛	1年生でかなり練習したようなので、今年度はあまり出来ていません。		
117	広島県	我が国	尺八の奏法の違いについて	鑑賞		第3学年	2時間	奏法の違いによる音色の違いを味わおう	巢鶴鈴慕				
118	千葉県	我が国	日本の伝統芸能であり、無形文化遺産に登録されている能楽を取り扱う。	鑑賞	日本の伝統的な音楽の側面だけではなく面などの点から美術科と連携し教科横断学習を実践。	第3学年	2時間	日本の伝統的な音楽を知り、伝統文化に親しもう。	「敦盛」	箏 箏に親しみながら自分たちで合奏ができる段階にする。			
119	静岡県	我が国	箏の授業を実践しています。	器楽	箏の基本的な奏法を生かして、さくらさくらを演奏しています。	第3学年	5時間	箏の音色を感じ取りながら演奏しよう	さくらさくら、六段の調				
120	静岡県	我が国	日本の伝統文化である歌舞伎・能・文楽のそれぞれの特徴を理解しながら日本の芸能の固有性やよさ、美しさ等に気づき、気づいたこと、考えたことを自分の言葉で表現することができる。また、そのよさを後世にどのように伝えていくべきかを考える。	鑑賞	鑑賞活動を通じて、気づいた点や気になった点からそれぞれの芸能の特徴を捉える。	第3学年	2時間	日本の伝統芸能である歌舞伎・能・文楽に親しみ、その音楽を味わおう。	「勧進帳」 「義経千本桜」に関する教材楽曲		【第1時】 ◆日本の伝統文化である歌舞伎・能・文楽の鑑賞活動を通して、それぞれの伝統芸能の特徴を理解することができる。 ○「日本ならではの文化」について挙げてみよう。 ○音楽とかかわりのある伝統芸能について知ろう。 ○それぞれの伝統芸能の特徴について鑑賞活動をもとに記入しよう。 【第2時】 ◆日本の伝統文化である歌舞伎・能・文楽の鑑賞活動を通して、特徴を理解しながら日本の芸能の固有性やよさ、美しさ等に気づき、気づいたこと、考えたことを自分の言葉で表現することができる。 ○三つの芸能の特徴をそれぞれ理解した上で改めて鑑賞を行い、音色や歌声について感じたことや考えたことをまとめよう。 ○自分が感じた日本の伝統芸能のよさや美しさ等を自分の言葉で記入しよう。また、日本の伝統芸能をどのように後世に伝えていくべきかについても考えよう。 ○日本の伝統芸能についての学習の振り返りを記入しよう。		
121	千葉県	我が国		器楽、鑑賞		第3学年	2時間	さくらさくら	地域みお住まいのお箏の先生による生演奏と実技指導				
122	茨城県	我が国	「虚無僧」が、尺八を吹く姿の画像を見せて、導入にしています。独特な尺八の音や、虚無僧の姿に、生徒たちは、びっくりし、興味をもたせるこ	鑑賞	アルトリコーダーの授業を3年間を通して行っています。アルトリコーダーと尺八を比較する、など行っています。	第3学年	2時間	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう。	「巢鶴鈴慕」	器楽は、アルトリコーダーを使っています。姿勢と構え方、タンギングなど、基礎から学習をします。班になり、カノンを行ったり、ハーモニーをつけて、演奏します。アーティキュレーションを工夫し、演奏をすること、演奏することの楽しさ 【第1時】 ◆尺八の音色や奏法による音色の変化に関心をもち、尺八樂についての関心を高める。 ・尺八の音色や奏法による音色の変化に着目して「巢鶴鈴慕」の「初段」を聴き、気づいたことや感じ取ったことをグループで話し合う。 ・尺八樂について知る。 ●尺八の音色や様々な奏法による音色の変化、旋律の特徴をリコーダーと比較しながら、知覚、感受し、尺八の音色や旋律について理解する。 ・「巢鶴鈴慕」で使用される使用される様々な奏法（スリ上げ、コロコロ、タマネ、メリ、カリなど）について確認し、リコーダーで試奏して、尺八固有の音色や音色の変化について気づいたことをグループで話し合い、ワークシートに記入する、 ・グループで意見交換したあと学級全体に発表し、尺八の音色や様々な奏法による音色の変化について理解を深める。 ・尺八の基本となる音と音域について知る。 ・「初段」とリコーダー曲を比較聴取して、尺八の音色や様々な奏法による音色の変化、旋律の特徴について気づいたことをグループで話し合い、ワークシートに記入する。 【第2時】 ●音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える	現代の曲を今の奏者が、演奏する動画（情熱大陸など）を見せています。尺八を現代の曲を演奏する演奏を聴くことで、親しみを感ずることができる。また、聞き比べをすることで、		

											や音楽のよさや美しさに触れることができます。	とともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって鑑賞する。 ・「巢鶴鈴慕」が鶴の親子の情愛と別れを表した曲であることを知る。 ・前時に学習した尺八の音色や様々な奏法による音色の変化、旋律の特徴を踏まえて「巢鶴鈴慕」を通して聞き、どのような情景をイメージしたかについてワークシートに記入する。 ・尺八奏の固有性及びそのよさや美しさについて、自分の考えをワークシートに記入してグループや学級全体で話し合い、他者の意見でよいと思ったことを記入する。 ・「巢鶴鈴慕」を通して聴き、学習したことを生かして、尺八奏の魅力や面白さについて考え、ワークシートにまとめる。	日本音楽の特徴である「間」について、理解を深めることができるためです。		
123	神奈川県	我が国	篠笛	器楽、鑑賞	篠笛の演奏、能舞台での鑑賞	第3学年	4 時間	久良岐能舞台で篠笛を演奏し、プロの演奏を鑑賞しよう	たこたこあがれ、ほたるこい、ひらいたひらいた、さくら	篠笛 合唱祭シーズン以外の常時活動として取り入れている。日本の音楽特有の「静けさ」を体感できるよう、所作も含めて3年間で日本の音楽の良さを味わえるようにしている。	【第1時】 ◆久良岐能舞台に関心をもち、成り立ちや雰囲気写真などから知る。また、篠笛の音色や 響きと奏法との関わりを理解するとともに、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 ○久良岐能舞台について学ぶ。 ・能舞台の資料や写真などから、身近にあるにも関わらずあまり知られていない能舞台について学び、関心を持つ ○3年間の既習曲（「たこたこあがれ」「ほたるこい」「ひらいたひらいた」）と「さくら」の中から、自分が能舞台で演奏したい曲を選び、練習する。 ・生徒一人ひとりが能舞台で演奏したい曲を自ら選択し、練習する。 ○能舞台で体験したい事、講師の先生への質問を考えることで、振り返りをする。 【第2時】 ◆自ら選んだ曲のよさや魅力を感じ取り、篠笛の音色や奏法を生かしてどのように演奏したらそれらを表現できるか追求する。 ○同じ曲を選んだ人でグループを作り、曲のよさや魅力を共有する。 ・ロイロで表現したいことを共有する ○教習したことをもとに、どのように表現するかを話し合い、練習する。 ・どのような思いをもって表現につなげるかを話し合い、そのために必要な技法などを協同的に練習する。 【第3時】 ◆プレ発表会を行い、静けさを表現しよう。 ○切戸口の開閉の練習や、入退場も含めた所作を確認し、静けさを意識して演奏しよう。 ・切戸口の開閉の仕方、切戸口からの入り方などを全員で確認し、所作を丁寧に行って静けさを表現する。 ○グループごとに発表する。 ・本番を想定して、音楽室で本番同様に発表し、良かった点や改善点を探る。 ○グループごとに振り返りをし、能舞台での発表に向けてどのようなことを意識したいかロイロに入力する。 【第4時】 ◆久良岐能舞台で、篠笛を演奏し、プロの演奏を鑑賞しよう。 ○能舞台で篠笛を演奏する。 ・音楽室との違いを体感する。 ○講師の先生の演奏を聴く。 ・プロの演奏を聴いて、日本の音楽の良さを感じ、能舞台だからこその響きの豊かさを体感する。 ○振り返りをする（3年間、日本の音楽とどのような関わりを持ちたいかなど） ・日本の音楽の学習の集大成として、今後どのように関わっていきたいか、また、地元 に気軽に日本の音楽文化に触れることができる能舞台があることの価値を感じ、これからの豊かな音楽経験のきっかけとしたい。	本校の目の前に久良岐能舞台があり、立地を生かし、授業内で能舞台へ行き演奏会と講師の先生の演奏鑑賞を行いました。			
124	静岡県	我が国		鑑賞	歌舞伎を鑑賞した。三味線音楽とは何か、歌舞伎とは何か、長唄とは何かを学習し、長唄の発声の特徴を理解し、実践し、「勅進帳」を場面の背景を知ったうえで鑑賞した。	第3学年	2 時間	歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。	「勅進帳」		【第1時】 ◆歌舞伎音楽、囃子、長唄について理解する。長唄の音色、奏法について知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ○歌舞伎音楽、囃子、長唄について理解する。 ・前学年時既習内容の、オペラ「アイーダ」を例に、総合芸術であること、囃子の楽器について確認する。 ○長唄の音色、奏法について知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ・「勅進帳」の一部分を聴き、歌唱の発声と異なる点を学級で考え、共有し、長唄の発声、音色、奏法について確認する。 ・長唄の発声方法を意識して、1フレーズ実践する。 ・長唄の音色、奏法を踏まえて、「勅進帳」を鑑賞する。 【第2時】 ◆「勅進帳」の場面の特徴に即した表現のあり方や音楽の役割などを感じ取り、歌舞伎や長唄のよさや美しさを味わう。 ○「勅進帳」の場面の特徴に即した表現のあり方や音楽の役割などを感じ取る。 ・「勅進帳」の各場面の登場人物、あらすじを確認し、場面ごと鑑賞する。 ・鑑賞を通して、歌舞伎、長唄のよさについて考える。				

125	静岡県	我が国	日本の伝統音楽	鑑賞	C D、D V Dによる鑑賞	第3学年	1時間	日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	能「敦盛」		◆音色、速度、旋律という謡を構成する要素を知覚した生徒が、それらの働きが生み出す特質や雰囲気演奏や資料から感受する活動を通して、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えて聴いている。 ○ツヨ吟、ヨワ吟、コトバの謡を声の音色、速度、旋律の違いや特徴に注目して鑑賞する。 ○「コトバ」「フシ（ツヨ吟）（ヨワ吟）」はどれかを感じ取ったことと音楽を形づくっている要素とを関連付けて理由とともに考える。 ・グループで意見交換をし、グループとしての考えをまとめる。 ・グループの考えを発表して、学級全体で共有する。 ○謡の特徴を確認しながら鑑賞する。 ○本時の振り返りをする。		
126	徳島県	我が国	能	歌唱、鑑賞		第3学年	5時間	能の世界観を味わおう～幽玄の美から～	能「敦盛」		【第1時・第2時】 ◆ねらい 日本の独特の美意識を理解し、幽玄の美の概念に触れる。 ○学習内容・学習活動 ①画像により、日本の美と西洋の美を比較し、それぞれに感じる思いを整理した後、幽玄を表現していると思われる画像をタブレットを活用して選ぶ。 ②能「敦盛」を紹介し、幽玄の美との関連を捉える。  【第3時・第4時】 ◆ねらい 謡を実演し、敦盛の心情に迫る。 ○学習内容・学習活動 ①能「敦盛」の「一門みなみな～はるかにのびた」までを歌う。 ②参考音源と比較し、テンポが変わることをきっかけに敦盛の心の動きや謡の特徴を捉える。  【第5時】 ◆ねらい 幽玄の世界を表現している「能」を味わう ○学習内容・学習活動 謡の実演やDVDの鑑賞を通して、感想や意見をまとめ発表する。	大鼓や小鼓の音をタブレットを用いて使用した。（効果音ボン出し）	
127	栃木県	我が国	箏、和太鼓 いずれも、地域の指導者	器楽		箏：1年生、和太鼓：89年生（合同で行う）	それぞれ2時間	演奏の仕方を身に付けよう	地域の講師による選曲	1年次は箏や和太鼓の作りや奏法を知る。2年次は、楽曲に触れ、簡単な曲を演奏する。3年次は、曲の解釈や音楽的な表現を学ぶ。	【第1・2時】 ◆日本の伝統楽器である箏に親しみ、その音色や奏法を理解し、音楽的な表現力を高めること。さらに、日本の音楽文化への理解を深めること。 ○講師による演奏を聴き、音色を知覚する。箏の作りや奏法について理解し、簡単な楽曲を演奏する。 ・曲名を考えたり情景を想像したりしながら聴く。西洋の楽器で演奏された同じ曲を聴き、違いを考えさせる。また、講師から箏についての基礎知識、基本的な奏法や作法を学ぶ。簡単な楽曲の演奏を行う。 和太鼓 【第1・2時】 ◆奏法やリズムに関心をもち、楽器への理解を深める。日本の伝統楽器に触れ親しむ。協調性を養う。演奏を通して自己肯定感を高める。 ○講師による演奏を聴き、奏法やリズムに関心をもち、奏法や基本的な知識を身に付けて、楽曲を演奏する。 ・演奏者の体の動き、姿勢、バチの持ち方などに気を付けて聴く。リズムに慣れるために唱歌する。講師から箏についての基礎知識、基本的な奏法や作法を学ぶ。簡単な楽曲の演奏を行う。友だちと音を合わせたり、良い演奏をするための工夫について話し合ったりする。		
128	栃木県	郷土	地域の和太鼓集団に指導をお願いし、その団体が練習している簡単な曲を2時間扱いで学習している。（活動場所も和太鼓集団の練習場）										
129	熊本県	我が国	能の授業。地域の方でシテ方をされ、また能面も作っている方ゲストディチャーとして来て頂いている。										
130	山形県	我が国	魅力に迫るために体験活動を取り入れている。	鑑賞		第3学年	3時間	雅楽に親しもう	雅楽「越天楽」		◆詳細は資料データを参照してください。		20260204 0216_ya magata.pdf